小・中・高・大を連携し、すべての英語教育の"今"を知る。

英語情報

2017

SPRING

明日から使える!

[特集]新学習指導要領で何が変わるのか



小・中・高・大の英語教育の"今"を 『英語情報』がお伝えします。

新学習指導要領の全面実施に向けて、

これまで以上に、児童生徒主体の言語活動を中心とした授業が求められ、

小・中・高・大をつないだ英語教育改革が進行しています。

『英語情報』では、国の動向から小・中・高の授業改善の取り組み、

大学の入試改革やグローバル化まで、英語教育の最新事情をお届けします。

明日からの授業づくりや指導にどうぞお役立てください。

「英語で授業ができるか不安」「言語活動の具体例が知りたい」 そんな先生方のために

> 『英語情報 AR』アプリで 誌面で紹介した授業の 動画を視聴できます。

今号の動画は、発行日より3カ月間 (予定)ご覧いただけます。



英語



アプリをダウンロードします。(ios/Android対応)

スマートフォンかタブレットを用意して、



★ Download on the App Store または Google play から「英語情報 AR」と検索し、ダウンロードします。



アプリを起動し、画像をスキャンします。



本誌記事中の AR・マークの付いた画像が 枠内に収まるようにスキャン します。



動画が再生されます。

「スキャン完了」と表示されると、動画が始まります。

一度スキャンした動画は「履歴」をタップすれば、いつでも動画をご覧いただけます。

※ iPhone/iPad → iOS7.0以上、 Android → ver. 4.0以上。

 $\bar{}$ Android 版は一部対応していない端末がございます。 $\bar{}$ インストール画面の動作確認端末をご確認ください。

- ※ カメラのピントが合わなかったり、光が反射したりすると、読み込みができない場合があります。
- ※ 読み込まない時は、カメラ位置を少し上下させて読み込み距離を調整してください。 ※ 読み取りに時間がかかる場合はアプリを再起動し、再スキャンをしてください。
- ※動画の再生にはネットワーク環境が必要です。Wi-Fi、またはLTE環境を推奨しています。

英語情報 CONTENTS









最新情報

02 NEWS & TOPICS

04

04「授業改善を考える」

新学習指導要領で 何が変わるのか

文部科学省 初等中等教育局 外国語教育推進室 室長 圓入 由美

- 08 特集事例 CLASS REPORT (高等学校編)
- AR 即時性や論理性を育成する 言語活動中心の授業 静岡県立沼津西高等学校 教諭 中島 由美 (中学校編)
- AR: 言語活動を充実させ、 「即興的にやり取りする力」を育成 広島県 東広島市立松賀中学校 教諭 中村 麻奈美
- [AR] 児童の 「聞きたい、話したい、やってみたい」を 大切にした授業づくり 徳島県鳴門市林崎小学校 教諭 坂田 美佳

14

(Information) 英検4技能化への対応

- 14 4級・5級スピーキングテスト
- 16 3級ライティングテスト

授業改善 18

18 (連載) 安河内 哲也先生が聞く【第11回】

- [AR] 明日から使える! 英語で授業 7つの鉄則 愛知県立加茂丘高等学校 教諭 浅尾 詠子
- 24 (連載) 新教育課程に向けて

技能統合型授業におけるライティングの指導と評価 明治学院大学 文学部 准教授 杉田 由仁

〔中学校編〕【第1回】

表現力や発信力を高める授業づくり

信州大学学術研究院 教育学系 教授 洒井 英樹

〔小学校編〕【第1回】

外国語教科化における文字指導のあり方 愛知県立大学 外国語学部 准教授 池田 周

3() 大学入試改革

30 TEAP Hot News!

国際化の取り組み

32 高校生・大学生の留学を促進! 「トビタテ! 留学 JAPAN」

文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクトディレクター 船橋 力

- 34 Top Global University [第11回] 世界中の教育機関とネットワークを結び 教育のグローバル化を牽引する先駆者として 東京外国語大学 理事・副学長 林 佳世子(総括、教育等担当)
- 36 Super Global High School [第11回] 2014年度 (平成26年) 指定校の 中間評価を受けて 文部科学省 初等中等教育局 国際教育課 課長補佐 鈴木 慰人
- 38 (EVENT REPORT) SGHの生徒たちによる課題研究発表 第2回高校生国際シンポジウムを開催

△() 指導のヒント

- 40 (連載)「学習到達目標と指導、評価の一体化」を目指して【第1回】 琉球大学 教育学部 准教授 深澤 真
- 42 (連載) 英検 4級・5級で広がる英語の世界【第1回】 鹿児島純心女子大学 国際人間学部 教授 川上 典子
- 44 (連載) 英検2級の「壁」を超えるための授業実践【第1回】 北海道札幌国際情報高等学校 教諭 木村 純一郎

46 Pick Up! 英語教育

小・中学生の英語学習意欲の向上を目指し 明海大学と足立区が連携協力協定を締結

「第9回全国高等学校英語スピーチコンテスト」 上位入賞者 海外研修報告

- 48 (連載) 全英連新潟大会に向けて 全英連・栃倉 和則 新会長に聞く 世界平和の鍵を握る英語科の先生方と 日本の英語教育向上を目指す 全国英語教育研究団体連合会 会長 栃倉 和則
- 50 (EVENT REPORT)

日本の英語教育の現状と今後を考える 「英語教育セミナー in 東京 2016」を開催

52 教員研修

- 52 2016年度 英検協会 英語教員海外研修 帰国後の取り組み報告
 - ●高等学校

三重県立宇治山田商業高等学校 教諭 児玉 靖明

●中学校

神奈川県 横浜市立日吉台西中学校 教諭 内山 亜矢子

愛知県 尾張旭市立本地原小学校 教諭 鈴木 由季子

54 わたしのオススメ本

NEWS & TOPICS

英語学習指導などに役立つ最新情報をお届けします

INFORMATION

実用英語技能検定 2017年度試験日程のご案内

大学入試における英語試験の4技能化が進み、外部の資格・ 検定試験の活用が広がり、今後は高校入試においても4技 能化が進むと予想されています。それに伴い、2016年度中に 英検2級以上の受験者数が急増する一方で、団体受験をさ れる中学校や高等学校より、部活動の公式大会や学校行事 等と試験日程が重複して受験できない場合に、公益財団法 人日本英語検定協会(英検協会)に、別日程での受験をご要望される声が寄せられています。そこで、2017年度より実用英語技能検定(英検)の二次試験の日程を2日間設定することで、中学生や高校生の受験機会を増やすことができるようにいたしました。

2017年度の試験日程は次の通りです。

■2017年度 実用英語技能検定 試験日程

| 試験日程 | | 第1回検定 | 第2回検定 | 第3回検定 |
|--------------|---------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|
| 受付期間 | | 3月10日(金)~5月12日(金) 〈書店締切:5月8日(月)〉 | 8月7日(月)~9月15日(金) 〈書店締切:9月8日(金)〉 | 11月21日(火)~12月20日(水) 〈書店締切:12月13日(水)〉 |
| | 本会場 | 6月4日(日) | 10月8日(日) | 2018年1月21日(日) |
| 一次試験 | 準会場 (全ての団体) | 6月3日(土)、4日(日) | 10月7日(土)、8日(日) | 2018年1月20日(土)、21日(日) |
| | 準会場 (中学・高校のみ) | 6月2日(金) | 10月6日(金) | 2018年1月19日(金) |
| — \b =-4 F\$ | A 日程 | 7月2日(日) | 11月5日(日) | 2018年2月18日(日) |
| 二次試験 | B 日程 | 7月9日(日) | 11月12日(日) | 2018年2月25日(日) |

■二次試験のA/B日程の区分けについて

団体申込

| 団体区分 | 1級、準1級 | 2級、準2級、3級 |
|---|--------|-----------|
| 中学校 高等学校 小・中/中・高/ 小・中・高一貫校 高等専門学校 専修学校高等課程 特別支援学校 | A日程 | A日程 |
| 小学校、大学、短大、塾、 その他団体 | | B日程 |

- ●中学校、高等学校、小・中/中・高/小・中・高一貫校、高等専門学校、専修学校高等課程、特別支援学校の受験者は、全級 △日程での受験とする。
- ●小学校、大学、短大、塾、その他団体の1級・準1級の受験者はA日程、2級・準2級・3 級の受験者はB日程での受験とする。
- ●ただし、学校行事や部活動など公的な理由で A、B それぞれの指定日程で受験いただけない小学校、中学校、高等学校、小・中/中・高/小・中・高一貫校、高等専門学校、専修学校高等課程、特別支援学校、大学、短大からの団体申込受験者は、学校長からの書面でのご依頼を提出いただくことでもう一方の日程に変更可能とする。(別途指定する方法・期間にて申請。)
- ●一部特別会場 (海外・離島など)、障がい者特別措置にて二次試験を受験する場合に ついては A 日程とする。
- ●各団体の該当区分については別途年度初めに送付する申込資材にて案内。

大学入試や高校入試における英検のスコア提出に対応するため、中学校・高等学校の団体受験者には入試出願日程に間に合うよう、成績表が早く届くA日程での試験日を設定しました。

個人申込

| | 1級、準1級 | | |
|--------------------------------|--|--------|-----------|
| 年齢区分 | 東京・神奈川・千葉・ 埼玉・ 愛知・大阪・兵庫 の受験地 で受験する場合 ※ | 左記以外 | 2級、準2級、3級 |
| 20歳以下 (1996年4月2日 以降生まれ) | A日程 | A日程 | B日程 |
| 21 歳以上 (1996年4月1日 以前生まれ) | B日程 | A LI1生 | D以往 |

- ●個人申込において、1級・準1級の受験者については、東京・神奈川・千葉・埼玉・愛知・大阪・兵庫の受験地にて二次試験を受験する場合(※)、2017年4月1日時点の年齢で満20歳以下の受験者はA日程、満21歳以上の受験者はB日程での受験とする。それ以外の受験地で受験される方は年齢を問わずA日程での受験とする。
- ●2級·準2級·3級の受験者については、受験地および年齢に制限なくB目程での受験とする。
- ●一部特別会場 (海外・離島など)、障がい者特別措置で二次試験を受験する場合は全級 A 日程とする。
- ※1級については、東京、横浜、名古屋、大阪の4都市での受験

また、団体受験(A日程)では日程が合わない中学生・高校生 の志願者については、個人で申し込みいただくことにより、別日 程(B日程)を選択することができます。

INFORMATION

「英検」準2級、3級に来年度から ライティングテストを導入

ここ数年、英語教育における4技能の総合的育成、発信能力のさらなる強化が掲げられるなか、英検も、2017年度第1回検定より、準2級、3級でもライティングテストを導入し、4技能化を図ります。

英検協会では、2016年度第1回検定から2級にライティングテスト、4級、5級にスピーキングテストを導入しました。そして、2017年度第1回検定からは、準2級、3級にもライティングテストを導入します。これにより、4級、5級を除く、3級以上の全級で4技能化が実現します。

■2017年度以降 英検の各級における測定技能一覧

| 級 | リーディング | リスニング | スピーキング | ライティング |
|-----|--------|-------|--------|--------|
| 1級 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 準1級 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2級 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 準2級 | 0 | 0 | 0 | 2017年度 |
| 3級 | 0 | 0 | 0 | 開始 |
| 4級 | 0 | 0 | 0 | 早期実現を目 |
| 5級 | 0 | 0 | 0 | 指して準備中 |

準2級、3級のライティング問題は、英検の審査基準を遵守したうえで、中学校、高等学校の学習指導要領、および国際基準規格であるCEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)において準2級はA2レベル、3級はA1レベルと整合させることを意識して開発。受験者は、記述式の自由英作文で、与えられた質問に対し自分の意見とその裏付けとなる理由を、適切な語彙と文法を使用しながら英文で論述する能力が問われます。また、準2級、3級へのライティングテストの導入にあたり、検定料の見直しの必要性が生じ、改定させていただくことになりました。

■2017年度 第1回検定からの検定料(税込)

| 会場 | 準2級 | 3級 |
|-----|------------------|------------------|
| 本会場 | 5,200円(現在4,500円) | 3,800円(現在3,200円) |
| 準会場 | 4,800円(現在4,100円) | 3,400円(現在2,800円) |

INFORMATION

「教員向けメールマガジン」を 毎月1回配信中!

英検協会では、教員向けメールマガジンを無料配信しております。ご登録いただいた方には、英検協会からのお知らせをはじめ、各種試験(英検、TEAP、IELTS、BULATS)情報、通信教育、「英ナビ!」等の教育コンテンツ情報を、毎月1回お届けいたします。登録済みの方で変更がある場合には、登録解除のうえ再登録をお願いします。

英検 教員向けメールマガジン 登録

検索

※登録および登録解除は同じページからできます。

EVENT

......

第7回 TEAP連絡協議会を 東京と大阪で開催

英検協会は、4月21日、28日に第7回TEAP連絡協議会を 東京と大阪で開催します。

日時: 【東京】 4月21日(金) 14:00~17:30 【大阪】 4月28日(金) 14:00~17:30

会場:【東京】明治大学(予定)

【大阪】関西大学

参加費無料

対象:①TEAP連絡協議会所属56大学の教職員様 ②大学英語教育または入試ご担当者様 ③高等学校進路指導および英語教員様

主な内容: (予定)

①TEAP公開試験実施報告

②2017年度入試結果総括と次年度に向けた展望

④その他英語教育関係者様

③高等学校でのTEAP活用事例

参加は下記よりお申し込みください。 東京:http://bit.ly/2lyDIHL

大阪: http://bit.ly/2mESbiV







英語教育関連書籍など2冊を 各1名様にプレゼント!

英語教育に関する書籍など2冊を、抽選で各1名様に差し上げます。本誌に関するアンケートにお答えいただき、ご希望の書籍番号をご明記のうえ、『英語情報』編集部までご応募ください。詳細はP.54をご参照ください。







特集「授業改善を考える」

学習指導要領で

学習指導要領が約10年ぶりに改訂される。2020年度以降の実施に向けて、これからどのように改革が進んでいくのか。そして、新学習指導要領は現行の学習指導要領と何がどのように変わるのか。2017年2月に公表された小・中学校の学習指導要領改訂案に基づき、文部科学省初等中等教育局国際教育課外国語教育推進室・圓入由美室長に「英語教育改革の動向」について伺った。

何が変わるのか

→ 「何ができるようになるのか」を明確化

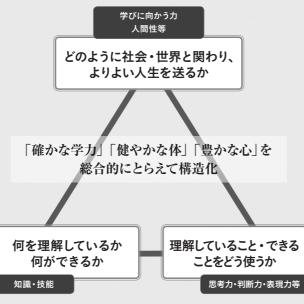
今回の改訂の基本的な考え方としては、「知識および技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する現行の学習指導要領の枠組みや教育内容は維持したうえで、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を形成する」ということがあります。そして、「何ができるようになるか一育成を目指す資質・能力一」を明確化し、次の3つの柱に基づいて再整理しました。

- ①何を理解しているか、何ができるか (生きて働く「知識・ 技能」の習得)
- ②理解していること・できることをどう使うか (未知の状況 にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)
- ③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか (学びや人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・ 人間性等」の涵養)

そして、このような資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう、「主体的・対話的で深い学

び」の実現に向けて、授業改善に向けた取組を活性化していくことが重要となります。

[育成すべき資質・能力の三つの柱]



文部科学省提供

(→) 教育内容の主な改善事項

外国語教育においては、小学校は中学年での「外国語活動」を、高学年で教科としての「外国語」を導入します。中学校では、言語活動の高度化を図り、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、「授業は英語で行うことを基本」としました。なお、このような改善を進めるためにも、教員養成や研修の改善・充実といった「指導体制の整備」「教材の開発」などの条件整

備を行い、より一層の支援をしていきます。また、小・中・高等学校の一貫した学びを重視し、外国語能力の向上を図る目標を設定するとともに、国語教育とも連携して、日本語との違いに気付くことなどの指導の充実も図ります。また、小・中・高等学校を一貫した学校段階の円滑な接続や、他教科との連携なども重視しています。

→ 小学校では何が、どのように変わるのか

小学校では外国語活動、外国語科のいずれにおいても「身 近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用い て伝え合う」こととします。

中学年の「外国語活動」の目標は、

- (1)外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、 **日本語と外国語の音声の違い等に気付く**とともに、外国語 の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う**力の素地**を養う。
- (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解 を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコ ミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

です。中学年は、これまでの外国語活動同様に「外国語の音声やリズムに慣れ親しむ」ことが重要であり、簡単な事柄について聞いたり話したりすること、目の前にいる相手を意識して、自分の考えや気持ちを伝え合うことを、実際に英語を用いた言語活動を通じて、体験的に身に付けるような指導が求められます。「聞くこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」の3領域を扱います。

高学年の「外国語科」の目標は、

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、文構造、言語の働きなどについて、**日本語と外国語との違いに気付き**、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる**基礎的な技能を身に付ける**ようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、 身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするととも に、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な

表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったりすることができる**基礎的な力**を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮 しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを 図ろうとする態度を養う。

です。高学年になると、読むこと・書くことのなかで「文字」を扱うことになります。ただし、あくまでも外国語活動で十分に慣れ親しんだ語句や基礎的な表現を聞いて、意味を理解したり、書き写したり、自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に書くことができるようにしたりすることです。また、中学年では「相手」を意識したコミュニケーション、高学年では「他者」に配慮しながら、中学校では「聞き手」「読み手」「話し手」「書き手」に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ることができるような指導が求められます。中学年で扱う「聞くこと」「話すこと「やり取り」」「話すこと「発表」」の3領域に「読むこと」と「書くこと」を加えた5領域を扱います。

圓入 由美 (えんにゅう・ゆみ)文部科学省初等中等教育局外国語教育 推進室 室長。1996 年文部省 (現・文部 科学省)に入省。学術、大学、生涯学習、 教育振興基本計画などの関係部署を経 て、2014年4月より現職。

(→) F

中学校では何が、どのように変わるのか

中学校では「日常的な話題や社会的な話題まで広げて、考えや気持ちを伝え合う」こととします。中学校の目標は、

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、 日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な 情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現した り伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、**聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら**、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

です。扱う領域は小学校の外国語科と同様に5領域となります。小学校で扱った基本的な表現などの学習内容を繰り返し 指導し、定着を図ることとし、授業では生徒が英語に触れる機会を充実させ、授業を実際のコミュニケーションの場とすることが求められます。授業は英語で行うことを基本としますが、指導に際しては、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすることとしています。

\ominus

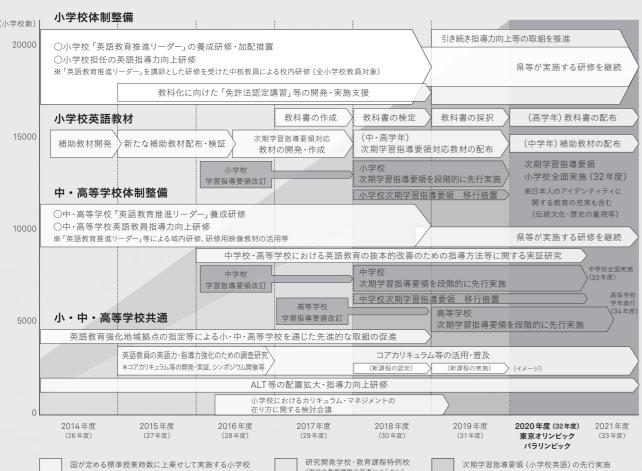
段階的に条件整備を進めていく

新学習指導要領は、小学校が2020年度から、中学校は2021年度から、そして高等学校は2022年度から、それぞれ全面実施となります。現在すでに研究開発学校や教育課程特例校では、先進的な取り組みを行っており、文部科学省ではそれらの成果を普及していきます。今後は、新学習指導要領の全

面実施に先立ち、小・中学校では2018年度より段階的に先行実施や移行措置を行うことになります。2016年12月には、「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」として、次のようなスケジュールが公表されました。

「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画スケジュール (イメージ)」

(2016.12)



この計画に基づき、文部科学省では2014年度から「教材開発」「教員養成」「研修の充実」などの条件整備を進めてきました。小学校においては、外部専門機関と連携し「英語教育推進リーダー」の養成研修を進め、「小学校担任の英語指導力向上研修」も同時に行っています。これらは2018年度末まで実施しますが、2017年度からは新学習指導要領に対応した教材の開発・作成も下表のように進めていきます。今後の研修では、新学習指導要領に沿い、新教材等を用いて、より具体的に研修を行っていくことが予定されています。



年間指導計画例素案(2月10日現在)

| 小学校外国語 | 唇教育に係る新教材の開発・整備 実施スケジュール (イメージ) 2017年1月末現在 |
|---------|--|
| 2017年2月 | ・年間指導計画例素案 (4学年分)、児童冊子・指導書 (各学年1ユニット文のサンプル) を配布 ・研究校における補助教材 (Hi, friends! Plus / Hi, friends! Story Books) の取組事例について紹介 |
| 6月 | ・年間指導計画例 (4 学年分)、学習指導案例 (5・6年)、児童冊子・指導書 (5・6年全体の編集原稿)、研修用資料を配布 |
| 9月 | ・児童冊子・指導書(5・6年全体の印刷原稿)をホームページに掲載 |
| 11月 | •児童冊子•指導書 (5•6年全体の印刷原稿)、デジタル教材 (5•6年)の内容説明資料を配布 ・デジタル教材音源 (5·6年)をホームページに掲載 |
| 12月 | ・児童冊子・指導書 (5・6 年完成版) を全小学校へ送付 ・児童冊子・指導書 (3・4 年全体の印刷原稿) をホームページに掲載 |
| 2018年1月 | •学習指導案例 (3・4年)、児童冊子・指導書 (3・4年全体の印刷原稿)、デジタル教材 (3・4年) の説明資料を配布 ・デジタル教材音源 (3・4年) をホームページに掲載 |
| 3月 | ・児童冊子・指導書 (3・4年全体の完成版)を全小学校へ送付 |
| 4月 | 次期学習指導要領先行実施校における授業開始 |
| | +四约90mm=11 |

文部科学省提

中・高等学校の体制整備も同様に「英語教育推進リーダー」養成研修や教員指導力向上研修などを2018年度まで継続的に行い、新学習指導要領の全面実施に備えていきます。また、教員養成は、2018年度よりコア・カリキュラム等の活用・普及を進めるとともに、2018年度に新課程が認定され、2019年度の大学教員養成課程入学者より新課程が開始され

る予定です。今後は、小学校教員養成課程において、小学校 での外国語の指導法等を行う必要があります。また、現在、小 学校教員養成課程に在学中の学生に対しても、新学習指導 要領に向けて、これまで小学校で先進的な取組を行っていた だくために国が開発した補助教材を、大学に配布いたします ので、授業で扱っていただきたいと思います。

(→) 2017年度末には高等学校の改訂案を公表予定

現在公表されているのは、小・中学校の学習指導要領改訂案ですが、2017年度末には高等学校の改訂案が公表される予定です。2016年12月の中央教育審議会「答申」において、高等学校の「外国語」では、現行の学習指導要領で行ってきた言語活動のさらなる高度化が求められ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」を総合的に扱う科目群として、「英語コミュニケーション I・II・II」を設定し、Iを共通必履修科目

とするとともに、外国語による発信能力を高める科目群として「論理・表現 $I \cdot II \cdot III$ 」を設定するとしています。

今後も英語教育改革は年次進行で段階的に進行していきますので、現在、小・中・高等学校で指導に当たっている先生方、各都道府県・市区町村教育委員会の皆様に向けて、必要に応じて情報を提供していきたいと思います。



即時性や論理性を育成する 言語活動中心の授業

次期学習指導要領を見据えて、「コミュニケーション能力・論理的思考力の向上を図り、進路 実現のための基礎力・応用力を涵養する」ことを目指す、静岡県立沼津西高等学校。 英語教員8名は「チーム沼西英語科」として、CAN-DOリストに基づいて、生徒の言語活動を 促すさまざまな取り組みを授業に取り入れている。

英語科主任の中島由美先生が指導する2年生の「コミュニケーション英語Ⅱ」の授業を訪ねた。

※掲載内容や肩書きなどは、取材当時のものです。

教科調査官が見る中島先生の授業

文部科学省 初等中等教育局 国際教育課 外国語教育推進室 向後 秀明 教科調査官

の程度に応じた表現や速度で英語を話していることからも分かります。これ ても、教師と生徒のインタラクションの中で生徒の発話をもっと引き出した らのことは、もどかしい思いをしながらもなんとか外国語を用いて進めてい い ②語彙・表現を英語⇔日本語のⅠ対Ⅰ対応ではなく、例えば、意味内容 くことが求められる授業の成否を握る大きなポイントになります。

活動ベースで工夫が見られる点としては、①Warm-up:生徒が自分の英 語力を駆使して伝え合う即興性を重視した活動を入れている ② Review: 教科書を見ずに情報を再現し合う活動を通して、教科書で学習した英語を 実際に使えるようにしている ③ Comprehension: グラフィック・オーガ

ことが挙げられます。

同時に、検討の余地があると思われる点として、①英文理解の場面であっ を映像で示す、易しい英語で言い換えるなどの工夫をしたい ③生徒が自 した段階的な指導が必要になる、といったことがあります。今後、授業がさら に"進化"していくことを期待しています。

【本時の目標】

ブータンが GNH を追求する国家体制を作っ てきた歴史的背景を理解し、キーワードであ る spiritual richness について生徒各自の 生活体験の中から例を簡単に紹介しあうこと ができる。

【教材名】

Lesson 10 Bhutan: A Happy Countryより Part 3

Landmark English Communication I (啓林館)

(全10時間中4時間目)

0min

2. 単元の帯活動 GNH (Gross Nishi-ko Happiness)

ここでは「幸福とは何によって実現するか」を考える。毎 回、"I am happy because..."のフレーズを使って生徒が 発話し、先生が応答。その発表数を黒板に記録する。



4.本時の目標確認~Listening

「"I have spiritual richness when..."と述べることができる」 というゴールが示される。CDを聞いて比較されている2つの 事柄について考え、該当箇所を本文からスキャニングする。



6. Comprehension 1

GNH (Gross National Happiness) とGNI (Gross National Income)を比較 し、精神的豊かさと物質的豊かさについて考える。「グラフィックオーガナイザー」を 用いた板書で、本文内容を視覚化して思考を整理し、ノートにまとめていく。



8. 本時のまとめの言語活動

先生からの "Do you have spiritual richness now?"の問いに対し、 生徒たちはペアで"I have spiritual richness when..."について自分 の考えを伝え合う。最後に数人の生徒が発表して授業は終了した。



3

4

5

6

8



2

1. 帯活動 Mission in Talking

毎回、先生から与えられた「アイテム」を使って、ワー クシートに記されたトラブルの場面から、どのように困 りごとを切り抜けるかをペアで説明し合う。



3. Review 消しゴムTalk

前時に扱ったPart2をCDで聞き、本文内容を振 り返る。その後、教科書を閉じて、ペアで消しゴム を渡し合いながら順番に本文をretellする。

5. 語彙の習熟

Vocabulary Sheetで新出語彙を確認。単語や品詞、意味が 空欄になっており、各自が予習で埋めてきている。全員で声に出 して答えを確認した後、ペアで出題し合いながらチェックする。

7. Comprehension 2

精神的豊かさを高めるために、ブータンが他国を研究 し、経済的発展ではなく、何を保護することに決めたの か、生徒同士で話し合い、文中からキーワードを探す。

生徒の思考力や表現力を育むペア・ワーク

沼津西高等学校は開校時より、「国際的 な視野を持って社会に活躍できる人材の育 成」を掲げ、2010年度には「コミュニケー ション能力の育成」を中期的な学校経営目 標に定めた。当時から生徒の言語活動を重 視し、2013年度には文部科学省の「英語 によるコミュニケーション能力・論理的思考 力を強化する指導改善の取組」の研究指定 を、その後は静岡県教育委員会より研究指 定を受けた。2013年度には文部科学省の 「外部専門機関と連携した英語指導力向上 事業」の指定を受け、2014、2015年度には 県教育委員会による研修協力校として、継 彙の確認に使用する。単なる新出単語のリス

続的に校内研修や研究授業を行い、長年の 取り組みは現在の同校の英語教育の基盤と なっている。

取材に訪れた授業でも、独自の実践が見 られた。帯活動「Mission in Talking」は、 生徒が即時的に話せるようになるためのペ ア・ワークだ。ワークシートに取り組んだ状 況を記録し、「困りごとをどのように解決する かを英語で相手に説明する」活動をしなが ら、意味が通じることを重視し、言葉のやり 取りを数多く行うことを目的としている。

語の定義をもとに単語や意味を書かせ、語

トではなく、生徒が本文をretellする場面な どで使うためのリストだ。

Comprehensionでは、図表や絵を用い て本文を「視覚的に理解」できるようにグラ フィックオーガナイザーを意識した板書をす る。中島先生は、生徒に問い掛けては思考 させ、発話を促し、キーワードを書き出し、 時に絵を描いて表す。生徒は本文と黒板を 見ながらノートをまとめ、ワークシートに記 入していく。板書とワークシートは内容を変 え、単に書き写しや穴埋め作業に終わらせ Vocabulary Sheet は、英語または日本 ず、生徒自身が考えて書くことを大切にして

単元末の Goal Activity は「私たちが幸せ

になるのに必要なものに順位をつける」こと を行う予定だ。4時間目の本時ではその準備 として、自分の生活体験の中からspiritual richnessを感じる場面を相手に説明するこ とを、まとめの言語活動とした。

学習到達目標と指導、評価を一体化

授業を通じてペア・ワークが随時行われ、 中島先生の問い掛けに応じて生徒同士で意 見を交換する。そして話し合った意見を全体 に共有し、先生がまとめていた。中島先生は 「ペアであれば必ず発言をすることになりま ペア・ワークをさせています」と話す。

理的思考力を育むために、Negotiation, Presentation, Debateの育成を柱に、 CAN-DOリストの形式による学習到達目 標を設定している。そして、CAN-DOリスト に基づく4技能別の年次目標を設定し、授 業で4技能を総合的に育み、評価と関連付 けている。中島先生は、「観点別学習状況 の評価を取り入れた定期テストに加え、年 1回のスピーキングテストやALTとのインタ ビューテスト、エッセイライティングなどを 行っています。授業内での小テストも取り入 す。生徒が話したいと思う瞬間を見逃さずに れ、生徒の努力をさまざまな材料から評価 を高めていきます」と語った。 します」と述べた。

同校ではコミュニケーション能力や論

同校ではCAN-DOリストをはじめ、教材 やテストなどは学校サーバーに保存し、英語 科教員全員で共有している。週1回の教科 会議で情報共有や実践報告を行うほか、会 議以外の時間にも各学年で指導内容につい て話し合い、研究授業をお互いに参観し合う など、「チーム沼西英語科」として教員全員で 授業改善に臨んでいる。

中島先生は「今後はICTを活用した授業 や、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業 の進め方も研究することが求められるでしょ う。校内研修を行いながら、チームで授業力

08 | 英語情報 2017 Spring

文部科学省 初等中等教育局 国際教育課 英語教育推進室 平木 裕 教科調査官

ぬくもりのある人間関係に包み込まれた空間の中で、単元の目 標にもある「間違いを恐れず話す」ことができる雰囲気が授業全 体を通して感じられますね。相手に伝えてみよう、相手の言って いることに耳を傾けてみよう、という思いがこちらまで伝わってき ますね。

今回の学習指導要領改訂では、「対話的な言語活動を重視す ること」や「授業は英語で行うことを基本とすること」などがその 趣旨に盛り込まれていますが、先生と生徒、そして生徒間での英 語によるやり取りが豊富に行われるこの授業は、まさにこれから の授業改善の方向性を指し示してくれています。ごく日常的な話 題ながら、客観的な事実に基づいた意見の主張や相手の意見へ の反論など、論理的思考力をねらっている点にも注目したいとこ ろです。

活動形態に変化を持たせる意味から、二人が意見交換するの を別の二人が聞き、いずれも説得力のある主張であったかを判断 させるなどの工夫が可能かもしれませんね。

【単元の目標】

説得力のある意見を述べ合う。

【本時の日標】

話題について互いの意見を述べ合うことができる。

【具体的なゴール】

0min

①客観的な事実を基に意見を主張することができる。 ②相手の意見に対して反論することができる。

【単元名】

中村先生の 授業の様子は こちら

賛成意見・反対意見を言おう。 POWER-UP® Writing & Speaking 『SUNSHINE ENGLISH COURSE 2』(開隆堂) (全4時間中4時間目)

2. 本時のねらいの確認

言語活動を充実させ、

小・中・高等学校を通じた研究を進めている。

工夫、指導内容・指導方法の在り方、評価の在り方だ。

2年生の授業を担当する中村麻奈美先生の授業を訪ねた。

「即興的にやり取りする力」を育成

文部科学省の「平成28年度英語教育強化地域拠点事業」の研究校である東広島市立松

賀中学校は、同市立東西条小学校、同市立御薗宇小学校、広島県立賀茂高等学校とともに

「即興的にやり取りをする力」を育成するため、同校が研究の柱に据えたのは、言語活動の

単元最終時の授業であることが伝えられ、本時の 目標「話題について互いの意見を述べ合うことが できる」と具体的なゴール2点を確認する。



4. ペアで意見を述べ合う

"Which is better, country side or city?"とペアで 尋ね合い、まず、自分の立場を明らかにする。意見とそ の理由を論理的に述べ、相手の意見に反論もする。

※掲載内容や肩書きなどは、取材当時のものです。



6. 話題と相手を変えて意見を述べ合う

ペアを交代し、修学旅行にもう一度行くことができるなら、 "Which is better, to go to Hokkaido or Okinawa?"につ いて意見を述べ合い、立場を変える場合の表現を知る。



50min

3

4

5

6



2

1. あいさつ&Warm-Up

英語であいさつし、ペアでの Chat Timeで英語を話しや すい雰囲気をつくる。Weekendをトピックに生徒同士で ペアを交代しながら英語での会話を繰り広げていく。



3. Review

前時で出し合った「田舎と都市の良い点」をマッピン グを用いて整理する。どちらが良いと思うかをペアで 意見を述べ合うために必要な基本表現を復習する。



5. 反論のための表現を知る

否定や打ち消しなど、反論する際の表現を確認し、あ らためて意見を述べ合う。いかに論理的に主張するこ とができるかを工夫して取り組む。

7. まとめと振り返り

AR

本時の具体的なゴール「客観的な事実を基に意見を主張す ることができる」「相手の意見に対して反論することができ る」について、単元の目標に照らし合わせて自己評価をする。

学習到達目標からバックワードで計画

英語教育強化地域拠点の指定を受け、東 広島地域では「今後の国際社会を生きる児童 生徒のための英語教育の在り方」を、小・中・高 等学校共通の研究主題として設定した。そし て、小学校卒業時から高等学校卒業時までの 学習到達目標を、校種間の接続も意識しなが ら、学年ごとに「聞くこと」「話すこと[やり取り]」 「話すこと「発表」、「読むこと」、「書くこと」の5 領域に分け、CAN-DOリストの形で整理した。

松賀中学校では、CAN-DOリストを実際に 指導や評価に活用できるよう、授業での言語 活動を意識して作成している。卒業時の「話 すこと[やり取り]」における学習到達目標を、 「聞いたり読んだりしたことのある話題につい

想や考えを交流することができる」とし、バッ クワードデザインで各学年の目標を段階的に 設定し、単元を設計した。そして、授業内容を 見直し、目標と指導、評価の一体化を図る授 業改善に努めてきた。

新学習指導要領において、中学校でも「授 業は英語で行うことを基本とする」とされてい るが、同校ではすでにそれを実践している。そ して、生徒が自分の考えや気持ちを述べるこ とができるよう、発達段階に応じた系統的な 英語使用と指導を行っている。

言語活動中心の授業で英語力が伸びた

取材に訪れた教室では、中村先生が優しい

て、意見や理由を述べる表現等を用いて、感 笑顔で生徒を見守り、生徒たちはみな明るく 生き生きと言語活動に取り組んでいた。2年生 の授業は、ペア・ワークが中心。3年生でのグ ループ・ディスカッションや高等学校でのディ ベート活動との接続を意識し、現段階から話 の進め方、論理の立て方、反論の仕方などを 学び、即興的なやり取りをさせる。この日は、 「田舎と都会のどちらが良いか」や「もう一度 修学旅行に行くなら、北海道と沖縄のどちらに 行きたいか」について、ペアで意見を述べ合い、 反論する活動に取り組んだ。自分の意見と理 由を述べるだけでなく、意見を裏付ける客観 的な根拠を主張し、相手の意見に反論できる ようになることをゴールとし、生徒たちは徐々 に論理的に主張するようになっていった。

親和関係が築かれ、生徒が自発的に発話

中村先生が重視しているのは、「教科書の 内容を使って、いかに生徒に言語活動をさせ るか」「いかに生徒の知的好奇心を刺激し、 話してみたいと思わせる話題を設定すること ができるか」だ。「生徒にとって、『伝えたい内 容』、『伝える目的』、『伝える相手意識』のあ る実際のコミュニケーション場面を設定す ることが大切です。ペア・ワークでコミュニ ケーションが深まり、生徒同士が助け合い、 学びを深めていく姿が見られます」と中村先 生は言語活動中心の授業の効果を述べる。 そして、「言語活動の充実のためには、英語 科だけでなく他教科との連携や情報共有が 必要です。生徒は国語での言語活動を通じ た。生徒の英語に関する意識調査でも、「英

て、客観的な事実に基づいて主張すると相 手を説得できることを体験しているので、今 日も客観的な根拠を意識し、述べていまし た」と話した。

こうした言語活動で学習したことを日々 の帯活動 Chat Timeで活用していく。 Chat Time はその日に与えられた多様な話題につ いて、ペアで相手の発言を掘り下げる質問 をしたり、応答・説明したりしながら会話を 継続していく活動である。言語活動とChat Timeを関連付けることで、習慣的に生徒の 即興的なやり取りの場面を仕組んでいる。3 年間の研究成果として、生徒の学力調査や 実用英語技能検定での評価・数値が向上し

語を話すことが好き」「英語を使えるように なりたい」といった声は8~9割を占める。 授業では教員と生徒、生徒同士の親和関係 が築かれ、生徒が間違いを恐れず、自発的 に発話をする姿が見られる。

中村先生は「私は生徒とインタラクティブ な授業をすることが大好きです。今後は生徒 たちがより興味を持ち、生き生きと活動をす ることができるような言語活動を行いたいと 思います。英語科はコミュニケーションを教 える教科です。英語をツールとして、自分の 気持ちや考えを表現し、相手を尊重し、思い やることができる。そして、いろいろな人と協 働することができる力を育てていきたいです ね」と笑顔で話した。

10 | 英語情報 2017 Spring

児童の「聞きたい、話したい、やってみたい」を 大切にした授業づくり

鳴門市林崎小学校は、同市第二中学校と同市里浦小学校とともに、文部科学省の研究開発学 校として、「豊かな国際感覚を育み、コミュニケーションへの積極的な態度と確かな英語力を育 成する小中一貫の外国語教育の創造」を研究開発課題に取り組んでいる。

同校では新学習指導要領で導入される中学年の外国語活動、高学年の外国語科について、 先行して研究を進めてきた。

6年生の担任を務める坂田美佳先生が取り組む「外国語科」の授業を訪ねた。

※掲載内容や肩書きなどは、取材当時のものです。

教科調査官が見る坂田先生の授業

文部科学省 初等中等教育局 国際教育課 外国語教育推進室 直山 木綿子 教科調査官

坂田先生の授業は、まず、子供たちの夢がかなうことを願っての温とも、大切なことですね。 かい歌で始まります。そして、「チャンツ」や「カードなくなれ!ゲーム」、 「インタビュービンゴ」で本時の語彙や表現に十分慣れ親しみます。 その際のポイントは、ゲームのやり方を指導者がくどくど説明せず、ま ず指導者同士でやって見せる、代表児童も巻き込んでやってみせる、 また代表児童にやらせてみて理解させているところです。そうするこ とで、日本語を介在する必要がなくなります。また、先生の指示も明 確であり、どの子供もきちんとやり終えるまで次の活動に移らないこ

さて、後半のメインの活動は、単元終末の発表に向けての「カード 作成」です。ここにもポイントがあります。文字の有用性を子供に感じ させながら、どのように書くと読みやすいかにも気付かせています。子 供たちが真剣に書き写していますね。

ところで…本時のねらいの横に貼られていた英文カードの配慮あ る貼り方に気付かれましたか。坂田先生は、文構造が見えやすいよう に貼っていましたね。教材の提示の仕方にも意図が必要なのです。

【本時のめあて】

つきたい職業についてたずね合うことに慣れ、 伝えたい表現をていねいに書き写そう。

【単元名】

My Dream~夢を語り合おう~ (全6時間中4時間目)

2. チャンツ

"What do you want to be?" & "I want to be a ..." をチャンツで定着させる。スクリーンに表示される 職業の単語とイラストを見ながら答えていく。



4. カードなくなれ! ゲーム

"What do you want to be?"の問いに、先生や友達 が"I want to be a ..."と答えた職業のカードを持って いたら出し、手持ちのカードが少ない人が勝ちとなる。



6. 中学生からのメッセージ

中学2年生が書き、話した「夢」についてのビデオレター を見る。スピーチ原稿に書かれた内容を文字から推測 し、映像を見て内容を理解する。



8. 振り返り

児童一人一人がReflection Sheet に、授業で自分や 友達の良かったことや感想を書き、その内容を発表し 合う。次の授業の意欲を高める自己評価をする。



8

45min

次時の告知

0min

3

5

つきたい職業についてたずね合う

伝えたい表現をていねいに書き写

先生が作成したスライドショーを見ながら、夢を かなえた自分や友達の姿に想いを馳せ、単元の テーマに沿った歌 "Someday" を歌う。

3. 本時のめあての確認

今日の授業の目標「つきたい職業についてたず ね合うことに慣れ、伝えたい表現をていねいに 書き写そう」を全員で声に出して確認する。

5. インタビュービンゴ

6

3×3マスで職業が書かれたインタビューシートを手に、 ペアで "What do you want to be?"とたずね合う。相手 が答えた職業があれば○を付けて何列できるかを競う。



7. カード作成

手作りの「思い出アルバム」に、英語で自分の夢を、 日本語でその理由を書く。自分の夢を思い描きな がら、英語を1文字ずつていねいに書き写す。

学びの連続性を考慮した段階的な指導

1. 導入(歌)

林崎小学校は2013年度に文部科学省の 研究開発学校の指定を受け、小・中学校9年 間を、導入期(小学1、2年生)・体験期(同 3、4年生)·接続期(同5、6年生、中学1年 生)・充実期(同2、3年生)の4期に分け、「学 びの連続性を考慮した段階的な指導」を行っ 70時間実施し、「身近で簡単なことについて ている。

「導入期」は、「英語活動」として年間で8 時間ほど実施し、英語を使った体験活動を 行い、他教科や他領域の学習でALTと交流 する場を設けている。「体験期」は年間35時 間の「外国語活動」として、その目標を「外国

語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コ ミュニケーション能力の素地を養う」ことと 定めている。取材に訪れた6年生の授業は、 「接続期」にあたり、「外国語活動と中学校の 英語科をつなぎ、中学1年生への段差を低く するための期間」だ。小学5、6年生は年間 外国語の基本的な表現に関わり、コミュニ ケーション能力の基礎を養うこと」を目標と する。アルファベットの読み書きや活動で扱 う初歩的な語や文を読んだり書き写したり する「文字学習」も取り入れているが、「文字」 はあくまでもコミュニケーションの幅を広げ

豊かにするための1つのツールだ。児童が単 語をまとまりとして認識したり、簡単な語を読 んだりする力を育てるために用いている。例 えば絵カードを工夫し、初めは絵が大きく文 字が小さく添えてあるものから、次第に文字 が大きく絵が小さく添えてあるものに変えて 使うなど、段階を追って文字を使用する。

自分を伝え相手を知ろうとする心を育てる

週2回の外国語科のうち1回は、中学校 の喜多容子先生とのティームティーチング (TT)、残り1回は、ALTとのTTもしくは学級 担任のみで行う。取材時は喜多先生とのTT だった。この日の授業で児童は、職業を表 す単語や表現に慣れ親しみ、アクティビティ を通してお互いの夢についてたずね合ってい た。また、中学生のスピーチとその原稿に触 れ、「2年後は、今よりもっと話したり書いたり することができるようになりたいね」と、中学 校での学びに期待を持たせる場面もあった。

授業の後半には、文字を書き写す活動に 取り組んだ。児童はこれまでの2つの単元と 合わせた「思い出アルバム」を作っている。 校内の好きな場所や6年間の思い出、自分 の宝物を英語や日本語で記し、写真を添え た個性豊かな作品に仕上がりつつある。今

回はあらかじめ記された"I want to be a ..." の文に、自分がつきたい職業名を書いた。そ の際、坂田先生は「将来の自分を思い浮かべ て、1文字ずつていねいに書き写そうね」と呼 び掛けていた。さらに「話した言葉はその瞬 間に消えてしまうけれど、文字に書けば残す ことができます。将来、このアルバムを見返し たときに、小学生のときはこんなことを考えて いたな、と思い出せたらいいね」と、文字を書 くことの意味を教えた。単元最終時には自分 の夢について発表し、最後の参観日には、保 護者の前でスピーチする予定だ。

この日の振り返りでは、児童から「早くみ

といった声が上がり、自分を伝え、相手を知 ろうとする心が育っているのが見て取れた。 林崎小学校で大切にしているのは、児童が 「聞きたい、話したい、やってみたい」と思う 気持ちだ。そのために、いかに心が動く場面 をつくるか、という視点で授業計画を立て ているという。坂田先生は「外国語科の授 業は、何か新しいことをしなければならな いのではなく、外国語活動で実践してきた ことの幅がさらに広がるという意識で臨め ば、無理なく接続できるのではないかと思 います」と述べた。

んなの夢やつきたい職業を聞いてみたい」

12 英語情報 2017 Spring

英検

4技能化への対応

4級・5級スピーキングテスト

Speaking

2016年度より、実用英語技能検定 (英検) 4級・5級にスピーキングテストが導入されました。「どのように受験すればよいのかを知りたい」という声にお応えし、今回は、スピーキングテスト受験の流れと、よく聞かれるご質問をご紹介します。

誰が受験できるの?

4級・5級の受験申込者全員が受験することができます。

一次試験を団体受験している場合は、学校のパソコン教室などで受験するか、受験者の各家庭で所有のコンピュータ端末 (パソコン、スマートフォン、タブレットなど) で受験させるかをお選びください。どちらを選択しても、団体責任者の先生は受験者の成績を確認でき、受験者自身も自分の成績を確認することができます。

どのように受験するの?

学校または自宅で、コンピュータ端末からインターネット上の「スピーキングテスト受験サイト」にログインして受験します。

面接委員との対面式ではなく、コンピュータ端末を利用した録音形式です。

【スピーキングテスト受験の流れ】

一次試験 (リーディングと リスニング) のお申し込み

※同時にスピーキングテストの受験申し 込みも自動的に完了します。あらためて 申し込む必要はありません。



一次試験 合否結果の送付※スピーキングテストの

受験に必要な英検IDと パスワードが記載

スピーキングテスト 受験可能 (一次試験 の合否関係なし)

能 (一次試験 台合: 関係なし) ※成縁 受験か づサイトでの一次試 行わから受験可能 ※30.00

スピーキングテストの 合否結果をウェブで閲覧

※成績表の郵送はしませんので、 受験から約1カ月後以降にウェブサイトからご確認ください。 ※級の合否には関係しません。

受験のために必要な準備は?

①「英検ID」と「パスワード」

受験と合否の閲覧には、「英検ID」と「パスワード」が必要です。英検IDとパスワードは、一次試験の受験票・本人確認票および個人成績表に記載されています。一次試験を準会場で受験した場合は、一次試験合否結果の送付書類に記載されています。

<受験票·本人確認票>



<個人成績表>



②コンピュータ端末、マイクやヘッドセットなどの機器

コンピュータ端末を使用して受験します。マイク内蔵のパソコン、スマートフォンやタブレットに加え、必要に応じて音声録音用に、ヘッドセットやスマートフォン付属のマイク付きイヤフォン、外付けマイクなどを用意してください。

③メールアドレス

メールアドレスを登録した受験者には、「採点完了通知メール」を送付します。登録しなかった場合には、受験から約30日後からスピーキングテスト受験サイトにログインして、結果を閲覧することができます。

テストはどのように進めるの?

①スピーキングテスト受験サイトにログインし、 受験する級を選びます。

英検IDとパスワードを入力してログインし、4級・5級のいずれかを選択してください。





② (コンピュータ)端末の動作環境を確認します。

画面の案内に従って、ご使用の環境、スピーカーの動作、録音 マイクの動作、録音した音声の音量を確認してください。



ポイント ご使用になるパソコンやブラウザ、通信回線に問題がない場合は、全て「〇」が表示されますので、次のステップに進んでください。

③テストの各画面を確認します。

画面上の面接委員の指示に従って、実際の試験の画面を見ながら、受験の流れを理解します。





④テストを受験します。

録音式の試験ですので、静かな環境で受験しましょう。

〈試験の流れ〉従来の二次試験と同じような流れです。

- (I) 問題文とイラストが表示されます。
- (2) 問題文を、黙読 (声を出さずに読む)します。
- (3) 問題文を、音読 (声に出して読む) し、それを録音します。
- (4) 問題文について、質問が出されるので、声に出してそれに答え、録音します。
- (5) 受験者自身のことについて質問されるので、それに答え、録音します。

4級・5級スピーキングテストQ&A

4級・5級スピーキングテストについて寄せられている質問にお答えします。

Q. 4級・5級スピーキングテストは受験しなければならないのですか?

- A. 4級・5級スピーキングテストの受験は任意です。スピーキングテストの受験状況および受験結果は、4級・5級の級認定に一切影響しません。
- Q. 4級・5級を受験し、不合格になりました。スピーキングテスト は受験できますか?
- A. 4級・5級スピーキングテストは一次試験の合否に関係なく、 申込者全員が受験できます。
- Q. 試験中にパソコンやスマートフォン等の電源が落ちてしまった場合、再度受験することは可能ですか?
- A. やり直し可能です。ただし、途中から再開するのではなく、再 度冒頭から受験する形になります。それまでの受験記録は削 除されますのでご注意ください。

- Q. 受験準備中に、音声が聞き取れなかったらどうすればよいですか?
- **A.** パソコンの「スピーカー」がミュートになっていないかを確認してください。 音声が聞きづらい場合はヘッドセットやイヤフォンをご使用ください。
- Q. 受験準備中に、録音した音が小さすぎたときはどうすれば よいですか?
- A. 「もう一度録音する」を選択してから、マイクに近づいて発話してください。 音量が緑色に達しない場合は、ツマミを調整して音量を上げてください。
- Q. 団体責任者ログインサービス、団体サポートシステムから、スピーキングテストの試験結果を閲覧することができますか?
- A. 団体責任者ログインサービス、または団体サポートシステムから試験結果は閲覧することができます。団体サポートシステムから試験結果を閲覧する場合は、事前に「試験結果取込」を行っていただく必要があります。

4級・5級スピーキングテストについては特設サイトにてご確認ください。

英検4級・5級スピーキング

検索

4技能化への対応

3級ライティングテスト

2017年6月に実施される第1回実用英語技能検定より、準2級と3級にライティングテストが 導入され、3級以上の級での4技能化が実現します。3級のライティングテストはどのような問 題が出題されるのか、サンプル問題を例に解答のポイントや満点解答例、減点となる解答例を ご紹介します。



3級ライティングテストはどんな試験?

ライティングテストは、中学校・高等学校の学習指導要領の目指す方向性と合致した設問です。国際基準規格であるCEFR(ヨーロッ パ言語共通参照枠) との整合性も持たせ、3級はCEFRのA1レベルに設定しています。試験形式は記述式の自由作文となり、与えられ た質問に対し、自分の意見とその裏付けとなる理由を、適切な語彙と文法を使用しながら英文で論述する能力が問われます。なお、ライ ティングテストの導入に伴い、従来の「短文中の語句整序問題」は廃止します。筆記試験時間は10分間延長し、50分間となります。

3級ライティングテスト 問題例

- ●あなたは、外国人の友達から以下のQUESTIONをされました。
- ●QUESTIONについて、あなたの考えとその理由を2つ英文で書きなさい。
- ●語数の目安は25語~35語です。
- ●解答は、解答用紙のB Tich にあるライティング解答欄に書きなさい。なお、解答欄の外に書かれたものは採点さ
- ●解答がQUESTIONに対応していないと判断された場合は、0点と採点されることがあります。QUESTIONを よく読んでから答えてください。

QUESTION

What is your favorite season?

- つまり、この問題では ・**あなたの考え (私の好きな季節は~です)**
 - ・理由を2つ
 - •語数の目安は25語~35語(おおよそ3文~4文) を英語で書くことが求められています。

そこで、

- ・どの季節が好きか
- …春夏秋冬から好きな季節を選ぶ。
- ・その理由は何か(理由①、理由②)
- …理由をいくつか考え、英語で表現できそうな理由を2つ選んで表現しましょう。

My favorite season is(季節の名前).

I have two reasons.

First, (理由①).

Second, (理由②).

例2

I like (季節の名前) the best.

It is because (理由①).

Also, (理由②).

3級の解答は、「内容」「構成」「語彙」「文法」の4つの観点で評価されます。

| 内容 | 課題で求められている内容 (考えとそれに沿った理由) が含まれているかどうか | QUESTIONで問われている内容に答えているか。関係のない内容を書いていないか 自分の考えを支持する理由を具体的に2つ書けているか |
|----|--|---|
| 構成 | 英文の構成や流れがわかりやすく論理的であ るか | 伝えたい情報の流れや展開を示す表現(接続詞やディスコースマーカー)を効果的に使っているか QUESTIONやトピックとは関係ない英文が含まれていないか 内容が一貫しているか。論理的に矛盾した部分はないか |
| 語彙 | 課題にふさわしい語彙を正しく使えているか | 英語になっていない表現 (和製英語など) を使用したときは説明があるか |
| 文法 | 文構造のバリエーションやそれらが正しく使われているか | 語順のルールを守っているか |

3級の満点解答例は次のようになります。

解答例

My favorite season is summer. I have two reasons. First, my school has a long vacation. Second, my friends and I can go swimming in the sea. (27語)

次のような場合は、高得点を望むことはできません。

解答例 考えを支持する理由がない。関係のない英文が書かれている。

I like winter the best. One of my friends like winter, too. I can understand it. He like skiing. he go skiing in Nagano with his family every winter. I like spring, too. Sometimes, I think summer is nice. I like watermelons.

解説

この答案には、解答者の冬が好きな理由が書かれていません。その代わりに、QUESTIONにまったく関係のない友人の好きな季 節や理由が述べられています。 また、「私は春も好き」 と続けたにも関わらず、「時々夏もよいと思う。 スイカが好きだから」 と、 論理 に一貫性がなく、文のつながりが薄いため、高得点を望むことはできません。

英検3級 ライティングテスト導入に寄せて

生徒のライティング力を育成するために

立教大学グローバル教育センター長 松本茂教授

文部科学省の調査では、中・高生の英語4技能のうちライティングに課題があることが明 らかになりました。自由記述問題では、何について書くのかを決め、その理由を述べていく という論理構成が重要になります。日頃から授業中の言語活動で、主張をして理由を述べ る、ということに慣れていれば、このようなライティングテストにも対応できるはずです。英 検のライティングテストは、生徒のライティング力を育成するテストであってほしい。それが 英語教育へのウォッシュバック効果につながると思います。



16 英語情報 2017 Spring 英語情報 2017 Spring | 17 (連載)

安河内哲也先生が聞く

安河内 哲也 (やすこうち・てつや)

一般財団法人実用英語推進機構代表理事、東進ハイスクール、東進ビジネススクール英語講師。文部科学省「英語教育の在り方に関する有識者会議」 委員を務める。英語学習の楽しさを世に広めるべく、テレビ番組などでも大活躍中。 英検 1級など英語関連の多数の資格を持つことでも知られる。

浅尾 詠子 先生

【第11回】

明日から



「英語を使うことの楽しさ」を大切にし、 工夫を凝らした活動で生徒の学習意欲が向上

愛知県東部の三河山間部に位置し、豊かな自然に抱かれてのびやかに送る高校生活。

1学年3クラスの小規模校の愛知県立加茂丘高等学校は、

生徒一人一人に合わせたきめ細やかな指導を大切にしています。

英語への苦手意識を持って入学してきた生徒たちが、笑顔で自発的に英語を話すまでに引き上げ、

「チーム加茂丘」として英語科教員5名が心一つに取り組む授業を訪ね、

浅尾詠子先生が実践している7つの鉄則を伺いました。

高校入学時は英語がほとんどできなかった生徒たち が、わずか2年にして、自信を持って英語を使って活動 できるまでに成長した姿をぜひ、ご覧ください。



本日の授業

使用教科書: New ONE WORLD Expressions Ⅱ (教育出版) / 単元名: Lesson 2 This Book Shows You How to Make Good Choices

導入

帯活動「Kamo & Strategy」で会話を広げる

浅尾先生は「今日のルーブリック」を生徒たちと一緒に見ながら、今日の授 業での達成度の基準を説明した。導入は帯活動「Kamo & Strategy (カモス テ)」だ。"You are what you eat."をトピックに、生徒たちはペアで質問し合 い、会話を自由にふくらませた。浅尾先生は、少なくとも7つのやり取りをするよ う指示を出す。朝食は何を食べたか、和食と中華のどちらが好きかなど、自分が ワークシートに書いてきた質問を相手に尋ね、その答えにどのように返すかを考



えながら会話を広げていた。その後、1分間の「ストラテジータイム」では、ペアでお互いが話した内容を共有し、まとめた。

発表(1)

健康アドバイザーとなり助言する設定で発表

前時に各グループで画用紙にまとめた健康上のアドバイスをクライアント役 の先生に見せながら、理由とともに説明する。発表を聞いている生徒たちは、そ れらを聞き取り、各グループの欄に書き記す。各グループからは適度な運動をす ること、スナック菓子を食べすぎないことなどが告げられた。



Group Discussion

使わせたい表現を自然に使わせる場面設定

発表を聞き、一番良かったアドバイスについてグループで話し合う。 「Expression Bingol」の4×4マスの表に記された、"I agree./ I think so, too. "などの表現を使えたら〇を付け、4列揃ったら、Bingoとなる。各グルー プでは、メンバーが英語を使って発言したり、シートに書かれた表現を使ったり することができたら順番にKamo-Cent Boy/Girlとなった1名の生徒が擬似 通貨のKamo-Centを1枚配り、生徒同士で評価する。生徒たちは積極的に英



語を使って発言してKamo-Centを手に入れ、いち早く4列を揃えようとしていた。発言が少ない生徒には、他の生徒が"Do you agree?"と問い掛け、"I agree."と答えさせて、その生徒がKamo-Centを手に入れられるように協力し合う姿が見られ た。生徒の積極的な発言を引き出し、学習意欲を高める工夫の1つだ。

発表②

グループで話し合った内容を全体に発表

各グループでホワイトボードにアドバイスの英文を書き、2名ずつが発表す る。「Eat more vegetables」「No snack」とのアドバイスを受けたクライア ント役の先生は「今日からAグループが提案したBilly's Boot Campを試し てみたいです。どのグループにも1 Kamo-Dollarを、そして、Aグループには5 Kamo-Dollarをあげたいと思います」と述べた。



振り返り

自分の学習を振り返り、次回へつなぐ

冒頭で提示された「今日のルーブリック」について、「授業中の英語が90%く らい理解できた」「自分が言いたいことの半分も話せなかった」など、3段階で 自己評価する。「今日がんばったこと、うまくできたこと」、「今日がんばれなかった こと、うまくできなかったこと」なども記入すると、浅尾先生は、「次回は、自分の 健康状態について記入し、エッセイを書きます」と説明した。



18 英語情報 2017 Spring 英語情報 2017 Spring | 19

鉄則その1

動機を内在化させる

「英語学習そのもの」を生徒の英語学習の動機となるよう、「楽しい授業」、「分かる授業」を行うことを心掛けています。「もっと英語を勉強したい!」と思わせることが目標です。英語は道具ですから、生徒自身が使ってみて「楽しいな」と思わせる工夫を取り入れるようにしています。「自分の意見をもっ

と言いたい!」、「やってみたら通じた!」 というように、生徒に楽しいと思わせる ことが大切なのです。そのため、授業 では「紙(教科書)」を相手に学ぶより も、「人」を相手に英語を使うことを重 視し、生徒が授業や家庭で学習してき た単語や表現を使う機会を用意する ようにしています。



鉄則その2

授業はコミュニケーションの場と捉える

授業時間は授業でしかできないことを行う時間です。問題演習は自宅でできることなので、家庭学習でやってくるようにしています。学校外で英語を使う機会が少ない本校の生徒にとっては、授業こそがコミュニケーションを実践する場なのです。そこで、「コミュニケーション英語」や「英語表現」

の授業では毎回、帯活動を導入に取り入れ、中学レベルの簡単な対話表現を、ペアで会話をしながら、できるだけ身体の中に取り込むようにしています。そうして授業の冒頭でインプットをしながら、ペア・ワークやグループワークをする際に、それらの表現を使って自分の言葉でアウトプットする

ことができるように促しています。



鉄則その3

心理的障壁を除去する

生徒が英語を話したら、間違っていても"Very good!"と褒めるようにしています。相手に伝えることこそが大切であり、「間違えてもいいのだ」という雰囲気をつくっています。また、本校のコミュニケーション英語の授業は、テーマに沿ったそれぞれ10文程度の基本的な対話文をペアで練習する活

動(通称「Kamo & Study (カモスタ)」)で始まります。英語の授業の雰囲気をつくること、基本的な英文を定着させることに加え、英語を発声することの心理的障壁を下げることを目的としたものです。帯活動で使った表現は授業やインタビューテスト、定期考査等で定着させています。生徒たち

は廊下で会うと自分から英語で"Hi, how are you?"とあいさつしてくるまでになりました。



鉄則その4

評価を工夫する

定期テストだけでなく、生徒が行っている言語活動全てを評価しています。本校独自の取り組みとして、授業中に積極的に発言するなど、がんばった生徒には、Kamo-Dollar (カモダラー)という擬似紙幣を配っています。授業が終わると生徒は各自が得た金額をKamo-Bankに預金し、教室に掲示したアメリカの州のプライスリスト

から、州単位で土地を買うことができます。生徒がどの程度意欲的に取り組んだかを可視化できるので、学期の評価でも、「関心・意欲・態度」の観点に加味することにしています。また、各単元の最終時には、パフォーマンステストとして音読やパブリックスピーチを、学期に1回は、先生とマンツーマンでインタビューテストを実施しています。「英

語表現」の授業では必ず、単元終了時 にエッセイを書きます。今回は自分の 健康に関するエッセイを書く予定です。



鉄則その5

明確なゴールを設定し、スモールステップを踏む

本校のCAN-DOリストには、卒業時に育てたい生徒像が明確に記されています。しかし、いきなりゴールにはたどり着けませんから、まず今、何から始めればよいのか、何をすべきなのかを考えて、一歩ずつステップを踏むようにしています。また、CAN-DOリストは一度作ったら終わりではありません。実際にCAN-DOリストに沿って授業

をしてみて、失敗することももちろんあります。うまくいかなければ、CAN-DOリストの修正もしています。生徒には「できた!」と実感させることが何よりも大切ですから、毎回の授業で「振り返りシート」に記入させ、「今日はできなかったけれど、次はがんばろう」と、生徒も自分で目標を持って学習に臨むことができるようにしています。そして、

その目標を達成できたら評価をする、ということを繰り返しています。



鉄則その6

活動をスパイラルアップさせる

例えばパブリックスピーチは、段階的に目標設定を高めています。入学当初は本校独自のブリッジ教材『Lesson O Who are you?』を使い、自己紹介や友達の紹介を最初のスピーチとします。その後は自分の好きなものについて、ビジュアルエイド(視覚資料)を使ってスピーチに取り組みます。1年生終了時には、Introduction, Body and

Conclusionというスピーチの定型を使って、自分の好きなものについて再度スピーチをします。2年生では、スピーチを聞いて質問ができ、その質問に即興で答えられることを目標に授業を展開します。そして3年生では、説得力を持って自分の意見を言えることを目標とし、ディベート活動にまでつなげます。また、4技能ごとに10段階のGradeを設

定した4技能型の「加茂丘英語能力検定 (カモ検)」を通じて、自分がどこまで 到達しているのかを明確にしています。



鉄則その7

同僚性を重視する

本校では「チーム加茂丘」を合言葉に、英語科教員5名全員で全校生徒を指導しています。4年前の着任当初、「生徒の可能性を信じて、言語活動中心の授業にしていこう」と、現在の取り組みを始めました。その後、メンバーが入れ替わっていくなかで、誰がいなくなっても、誰が入ってきても同じクオリティで授業

ができるようにし、現在は「全員が同じ 方向を向いて、がんばろう!」という気持 ちで臨んでいます。本校では科目ごとの 担当者が指導計画を立てますが、英語 科では全員で相談しながら決定し、教 材も共有しています。職員室でも英語 科教員はうるさいと言われるほど、とに かく教員同士で話し合うことを大切にし ています。また、授業も一人で行うので はなく、お互いの授業に入り、生徒の発 話を引き出すようにサポートしています。





生徒の可能性を信じ、「英語を使う楽しさ」を

生徒の実情に合わせた 工夫を取り入れる

安河内 今日はいろいろな工夫を拝見 させていただきました。加茂丘高等学 校では、いつからこのような取り組みを されていますか。

浅尾 4年前です。私が転勤してきた4 年前は、現行の学習指導要領に変わる 時期で、「授業は英語で行うことを基本と する」とされ、「コミュニケーション英語」 の科目が導入されることになりました。 どのような授業を展開していけばよいの かを、鈴木先生と相談しながら授業改革 を始めました。本校は、中学時代に学習 困難だった生徒が集まる学校なので、当 時の英語科教員のなかには「うちの生 徒たちにそんなことをしてもムダだ」と考 える方もいましたが、「生徒の可能性を信 じて、やってみましょう」と協力を仰ぎまし た。2014、2015年度には、文部科学省 の「課題解決に向けた主体的・協働的 な学びの推進事業」の研究指定を受け、 学校全体で「授業改善」「地域連携」 「キャリア教育」を三本柱に据えました。 それからは英語科だけでなく他教科で も、生徒の思考力・判断力・表現力を高 めるための発表活動やアクティブ・ラー ニング型の授業を展開しています。

安河内 授業のアイデアの源はどこにありますか。

浅尾 常に情報のアンテナを張り、日常生活のなかで、授業で取り組んだら面白そうなネタは探すようにしています。時には、自分の子供と一緒に幼児番組を見ながら、「これは授業でも使えそう!」とヒントを得ることもあります。そうやって、みんなが小さなアイデアを持ち寄って、みんなでひとつの形にしていきます。本校の生徒に何が必要か、どうやったら最も効果的に学べるかを重視しています。安河内 Kamo-Dollar (カモダラー)とKamo-Cent (カモセント)は面白い工夫ですね。

浅尾 授業中の評価の可視化として

配っています。生徒は授業中に挙手して 発言したり、アクティビティの中で活躍 したり、言語活動に積極的に取り組むと Kamo-Dollarがもらえます。「Kamo-Dollarをたくさんもらっている=授業に 積極的に参加している」という評価につな がります。また、教室にはアメリカの州の プライスリストを掲示し、貯まった Kamo-Dollarを使って、州を買うことができます。

生徒が楽しんで 英語で話す雰囲気づくり

安河内 生徒が英語を自発的に話そうとする「仕掛け」ですね。今日の授業は帯活動の「Kamo & Strategy (カモステ)」から始まり、生徒同士が自分の言葉で質問し合い、会話を広げていました。言いたいことがうまく表現できないときには、教え合う姿も見られましたね。

浅尾 生徒同士の学び合いもねらいとしています。入学当初から「コミュニケーション英語」の授業で帯活動となる「Kamo & Study (カモスタ)」で簡単な対話表現を定着させてきたので、先月から「英語表現Ⅱ」の授業でカモステを導入しました。それまでは、写真について説明する活動や3ヒントクイズを出し合う活動などで、生徒同士で英語を話す雰囲気づくりをしてきました。

安河内 生徒たちは英語で会話をする

浅尾 生徒は休み時間に廊下で会うと、生徒の方から英語で話し掛けてきたり、教員が何かをした後に"Thank you!"と自然に返してくれたりするようになりました。教員から英語で話し掛けなくても、生徒の方から英語を話すようになっているのは、うれしい限りです。

授業と評価を連動させる「カモ検」

安河内 そうしてどれだけ英語を使えるようになったかを、「加茂丘英語能力検定(カモ検)」で評価するのですね。

浅尾 「カモ検」は本校独自の英語能力 検定で、技能ごとに0~9まで10段階の Gradeを設定しています。生徒には1年 生の最初に「カモ検」のGradeと目標を 示した一覧表を渡します。「パフォーマンス テスト (プレゼンテーション)」と「校内検 定試験」の項目に分かれていて、Grade1 では、プレゼンテーションの「構成等」の 項目は「主題だけでなく、それを説明する 文が付け加えられている」ことで合格とし、 「語数」は30語、「発表態度」は「発表中、 アイコンタクトを1回以上行う」と合格とな ります。校内検定試験は、「インタビュー(面 接)」「ライティング」「リーディング」「リス ニング」「語彙力」の項目でそれぞれ判定 します。Grade Oを入学時の英語力として、 1年生終了時にGrade 2、2年生終了時に Grade 4、3年生終了時にはGrade 6ま



感じさせる授業づくりを

で到達することを目指します。4年制大学 や県内有名私立大学、さらに難関大学を 目指す生徒には、それ以上のGradeまで 到達するようにと呼び掛けています。

安河内 「カモ検」をつくった背景は?

浅尾「CAN-DOリスト」が生徒には分かりづらく、生徒の英語力をどのように測ればよいのかが不明瞭だったからです。そこで、「これができたらGrade 1」という効果測定ができるよう、技能とできることを示すことを考えたのです。パフォーマンステストは授業中などに実施し、校内検定試験は毎年6月と11月の年2回、全校で実施します。リーディングやリスニング、ライティングは初見の問題について、どれだけ正解できたのかを測り、Gradeを判定します。

安河内 英検などの資格・検定試験と の違いは何ですか。

浅尾 難易度です。本校の生徒にとって英検はハードルが高く、「カモ検」は少しがんばればできることを基準に作問しています。また、授業との連動性も持たせ、単元の評価につなげています。

安河内 「あなたが一番会いたい人は誰ですか」などと、自分の言葉で表現する問題であれば、生徒も楽しんで答えられますね。

浅尾 「カモ検」の最大のねらいは、生徒に「英語ができるようになった」と実感させることにあります。本校ではどのような進路に進もうと、卒業時の学習到

達目標を「外国人が道で困っている場面に出会ったら、自分から声を掛けることができる」ことに設定しています。それが英語でも日本語でもよいので、「自分から話し掛けられること」を目指しています。英語が嫌いで入学してくる本校の生徒たちには、外国人に話し掛けること自体がハードルの高いことなのです。

安河内 生徒の発話を促すために、どのような声掛けをしていますか。

浅尾 生徒のがんばりをとにかく褒めます。褒められれば生徒もうれしくなり、やる気が高まります。そのがんばりはKamo-Dollarなどの目に見える形で評価され、生徒のさらなる意欲につながっていきます。

「チーム加茂丘」で 生徒の学びを支える

安河内 「カモ検」の Grade 0 は、ブリッ ジ教材の『Lesson 0』にあたるのですね。 浅尾 1年生の最初に『Lesson 0』の 冊子を配布し、「コミュニケーション英 語」の授業で、1カ月半ほどかけて学び ます。自分や友達紹介から始めて、最 後には先生にインタビューをして、グ ループで先生を紹介するポスターを作 り、クラス全員の前でポスターを見せ ながらその先生について紹介します。 『Lesson O』は、本校の英語教育のエッ センスを凝縮した教材です。加茂丘高 等学校では英語でスピーチをすることに なるのだと、入学当初から生徒に理解さ せて活動に取り組ませ、人前で英語を話 すことの心理的障壁を下げていきます。 安河内 今日も生徒たちは楽しんでス ピーチをしていましたね。中学では学習 に自信を持つことができなかったのに、 高校生になって花開いたという生徒が 多そうですね。確か、入学時の偏差値 は37でしたよね。

浅尾 現在の3年生を対象としたアンケートでは、入学当初2名だけだった「英語が好き」と解答した生徒の人数が、その後アンケートを取るたびに増えてい

きました。「分かると楽しい」「もっと勉強したい」という生徒が増えています。

安河内 入学時と卒業時では、生徒の顔 つきが変わっているのではないですか。

浅尾 そうだといいですね。中学校では英語が嫌いだったという生徒がほとんどなので、まずは、be動詞と一般動詞の違いから教え始め、簡単な対話表現を使えるようにしていきます。

安河内 be動詞と一般動詞などの表現を繰り返し使っていれば、ある程度の日常会話ができるようになりますよね。

浅尾 生徒は授業中にしか英語を使 う機会はありませんから、習った単語や 表現を使ってみたら通じたと感じられる 場面をできるだけ用意したいと考えて います。例えば1学期の終わりには、鉄 道会社の運営をモチーフにしたゲーム の「桃太郎電鉄」をアレンジした「カモ 鉄」をしました。1学期に習った単語や 表現を使うなどのタスクをクリアしてい くとKamo-Dollarをもらえる、英語を 使ったゲーム感覚の活動です。ほかに も、ハロウィーンの日は、学年全員を武 道場に集めて、ミッションをクリアしたら Kamo-Dollarをもらえるようなタスクを 設定しました。その時は私たち教員全員 が仮装して、自分たちでも楽しみました。 安河内 先生が楽しむのは大事なこと ですね。授業では浅尾先生だけでなく、 他の先生も活動に入って生徒にアドバ イスするなど、協力体制ができていまし たね。今日は、生徒がいろいろな場面で 「英語が楽しい」「英語ができるように なった」と実感できる工夫が取り入れら れた素晴らしい授業でした。

浅尾 この4年間の取り組みで、生徒の可能性の大きさに気付かされました。生徒の未来をつくるためにも、今後も授業と評価の改善に努め、英語科教員5名が「チーム加茂丘」として、生徒が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、コミュニケーション能力をさらに伸ばすことのできる授業をつくっていきたいと思います。

新教育課程 に向けて 高等学校編

技能統合型授業における ライティングの指導と評価

〔連載〕第1回

思考力・判断力・表現力を育む 技能統合型の授業づくり

明治学院大学 文学部 准教授 杉田 由仁

本連載では、2020年度から実施される次期学習指導要領に向けて、高等学校における思考力・ 判断力・表現力を育む技能統合型の授業づくりや、生徒の発信力を高める効果的なライティング の指導と評価のあり方などについて、具体的に考えていきたいと思います。

生きる力を育むために 具体化した三つの柱

2016年12月21日の中央教育審 議会において、2020年度より完全実 施される予定の次期学習指導要領の 答申『学習指導要領等の改善及び必 要な方策について』が文部科学大臣 に提出されました。そのなかで、社会

において自立的に生きるために必要な 「生きる力」を育むというこれまでの理 念のさらなる具体化を図るために、学 校教育が育成を目指す資質・能力の三 つの柱として、1)生きて働く「知識・技 能」の習得、2)未知の状況にも対応で きる「思考力・判断力・表現力等」の育 成、3) 学びを人生や社会に生かそうと

新しい時代に必要となる資質・能力の三つの柱

さびを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の情況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成

出典:『学習指導要領等の改善及び必要な方策について(答申)』より「学習指導要領改訂の方向性」から一部抜粋

する「学びに向かう力・人間性」の涵 養が明記されました。

外国語教育に関しては「中・高等学 校においては、文法・語彙等の知識が どれだけ身に付いたかという点に重点 が置かれた授業が行われ、外国語によ るコミュニケーション能力の育成を意 識した取り組み、特に『話すこと』及び 『書くこと』などの言語活動が十分に行 われていないことや、習得した知識や 経験を生かし、コミュニケーションを行 う目的・場面・状況等に応じて適切に 表現することなどに課題がある」*1こ とが指摘されました。この課題を踏ま え、次期学習指導要領では、「知識・技 能」と「思考力・判断力・表現力」の一 体的育成、具体的には「児童生徒の学 びの過程全体を通じて、知識・技能が、

杉田 由仁(すぎた・よしひと)

山梨県公立中学校教諭、山梨県立看護大学専任講師、山梨県立大学看護学部准教授を経 て現在明治学院大学文学部英文学科准教授。博士(教育学)。主な著書に『日本人英語学 習者のためのタスクによるライティング評価法』(大学教育出版)、『パラグラフ・ライティング基 礎演習』『ジャンル別パラグラフ・ライティング』(成美堂)、『ライティングで学ぶ英語プレゼン テーションの基礎』『英語で英語を教える授業ハンドブック』(南雲堂)などがある。



実際のコミュニケーションにおいて活 用され、思考・判断・表現することを繰 り返すことを通じて獲得される」授業 づくりが求められることになります。

技能統合型授業において育むべき 思考力・判断力・表現力

『外国語活動・外国語科において育 成を目指す資質・能力』という改善のた めの答申資料に基づいて、「思考力・判 断力・表現力」を整理すると下表のよう になります。また、今回の答申における 「統合型の言語活動(聞いたり読んだり したことを活用して、話したり書いたり する言語活動)」の定義に該当する「思 考力・判断力・表現力」は、下線部の能 力であると考えられます。つまり、このよ うな「外国語で、情報や考えなどを表 現し伝え合う能力」や「考えの形成、整 理」に効果的な技能統合型の授業づく りに取り組む必要があるのです。

思考力・判断力・表現力を育む 技能統合型の授業づくり

Harmer (2007) は「技能統合 (integrating skills)」の手法として、 以下の4つを提案しています。これら の手法に基づき、思考力・判断力・表 現力を育む技能統合型の授業づくり について考えてみたいと思います。

- 1) Speaking as preparation and stimulus
- 2) Texts as models
- 3) Texts as preparation and stimulus
- 4) Integrated tasks **2

1) は「話すこと」を他技能の活性化 や他技能による活動を行うための準 備として行わせるという手法です。ライ ティングの指導においては、実際に書く 活動に入る前に、ブレインストーミング としてライティングのトピックに関する

簡単な英語でのやり取りを行うことな どが考えられます。この手法は「考えの 形成、整理」に効果的な授業づくりを行 ううえで有効であると思われます。

2) は「モデル文」の活用です。ライ ティング指導の際には、生徒にモデルと なる文章を提示して、その構成や特徴 などについて説明し、考えさせ、十分に 理解させてから、書く活動に進ませると 効果的です。読んだことを活用して書く という統合型の言語活動になりますので 「外国語で、情報や考えなどを表現し伝 え合う能力」を育成する授業づくりを行 ううえで効果的な手法と言えます。

3) は「聞くこと」「読むこと」を「話 す」「書く」活動の活性化や準備とし て行わせるという手法です。ライティ ングの指導においては、実際に書く活 動に入る前に、ライティングのトピッ クに関して書かれた内容の文章を読 ませ、物語を英語で聞かせてから物 語体の文章を書かせることなどが考 えられます。2) と同様に、「外国語で、 情報や考えなどを表現し伝え合う能 力」を育成する授業づくりを行ううえ で効果的な手法と言えます。

4) がいわゆる 「統合型の言語活 動」です。「外国語で、情報や考えなど を表現し伝え合う能力」を育み「考え の形成、整理」に効果的な技能統合 型の授業づくりの中心的な活動とし て位置づけられます。次号では、この ような技能統合型のライティング活 動を分類して、さらに授業づくりにつ いて考えていきたいと思います。

思考力・判断力・表現力等

- ◆外国語で、情報や考えなどを表現し伝え ◆考えの形成、整理 合う能力
- ○コミュニケーションを行う目的・場面・状況 | ○目的等に応じて、外国語の情報を選択した 等に応じて、幅広い話題について、外国語 を聞いたり読んだりして情報や考えなどを 的確に理解するコミュニケーション力
- ○コミュニケーションを行う目的・場面・状況 等に応じて、幅広い話題について、外国語 を話したり書いたりして情報や考えなどを 適切に表現するコミュニケーション力
- ○外国語で聞いたり読んだりしたことを活用 して、外国語で話したり書いたりして情報 や考えなどの概要・詳細・意図を伝え合う コミュニケーション力

- り抽出したりする力 ○知識や得た情報を活用して、自分の意見 や考えを外国語で形成・整理・再構築す
- ○形成・整理・再構築した自分の意見や考え を、実際に外国語で表現する力 など

【参考文献】※1 中央教育審議会 (2016)『学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)』、p.193 ※2 Harmer, J. (2007). The practice of English language teaching (4th ed). p. 267 Essex: Pearson.

24 英語情報 2017 Spring 英語情報 2017 Spring | 25

新教育課程 に向けて

中学校編

表現力や発信力を 高める授業づくり

〔連載〕第1回

次期学習指導要領で、 中学校の英語教育に求められること

信州大学 学術研究院 教育学系 教授 酒井 英樹

今回の学習指導要領の改訂においても、外国語のコミュニケーション能力の育成が重視されて いることに変わりはありません。本連載では、特に表現力や発進力に焦点をあてて、生徒のコミュ ニケーション能力をどのように育成していくのかについて紹介していきます。第1回は、「次期学習 指導要領で中学校の英語教育に求められること」を整理します。

小・中・高等学校を通じて

一貫した学習到達目標

中学校の英語教育においては、「どの ような資質・能力を育成するのか」とい うことを明確にし、その「指導目標」に向 かって「授業改善」を行い、さらには「評 価」をしていくことが重要です。その際、 各校種段階の学びを効果的に接続させ るために、小学校において培う資質・能 力をよく理解し、中学校でどこまで伸ば し、高等学校へどのようにつなげるのか ということを視野に入れて考えましょう。

次期学習指導要領では、外国語活 動が小学3年生から開始されます。ま た、5年生からは外国語科が教科とし て年間70単位時間(週当たり2時間 に相当) 実施されます。この成果を十 分踏まえたうえで、中学校での指導を 構築することが求められます。

小・中連携を考えるとき、例えば、小 学校で過去形や複数形を学んでいる のか、というように、「内容」で考えがち です。文法や語彙等の知識よりも外 国語を使用する能力に力点を置くなら ば、小・中連携においても、「外国語を 使って何ができるようになるか」という 観点から考えることが重要です。

小学校外国語科と中学校外国語科 において、「聞くこと」、「読むこと」、「話 すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」 「書くこと」の領域別の目標が設定され ました。それぞれ2~3項目提示され ており、従来の学習指導要領よりも具 体的に示されていると言えます。

この領域別の目標では、文末が「~ できるようにする」と記されています。

5つの領域別の目標

(1) 聞くこと

ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必 要な情報を聞き取ることができるようにする。

- イ 目常的な話題に関して、簡単な語句や文で書かれ た短い文章の概要を捉えることができるようにする。
- (3) 話すこと 「やり取り」
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたこと について、考えたことや感じたこと、その理由など

を、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができ <u>るようにする</u>。

(4) 話すこと [発表]

- ア 関心のある事柄について,簡単な語句や文を用い て即興で話すことができるようにする。
- (5) 書くこと
- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用い て正確に書くことができるようにする。

洒井 革樹 (さかい・ひでき)

信州大学学術研究院教育学系教授。専門は英語教育、第二言語習得。主な著書に『小学校 外国語活動 基本の「き」」(大修館書店)、『はじめての英語教育研究』(共著、研究社)、『新 しい英語教育の展開』(共著、玉川大学出版部)、『小中連携を意識した中学校英語の改善』 (共著、三省堂)、中学校検定教科書『NEW Crown English Series 1·2·3』(共著、三省堂) がある。中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会外国語ワーキンググループ及 び言語能力の向上に関する特別チームの委員を務めた。



「~できる」という文末になる CAN-DO リスト形式の「学習到達目標」とは表 現が少し異なります。これは、学習指 導要領は主として教員に向けて指導す る内容を示すものですから、「指導目 標」として提示されていると考えるとよ いでしょう。指導目標の中に、いわゆる CAN-DO形式の記述が埋め込まれた 表現となっているのです。

学習指導要領で示された領域別の 目標をよく理解し、学習到達目標を明 確にすることが、中学校の英語教育に 求められています。

授業における英語使用の増大

「指導計画の作成と内容の取扱い」 の項目では、「牛徒が英語に触れる機 会を充実するとともに、授業を実際の コミュニケーションの場面とするため、 授業は英語で行うことを基本とする」 ことが明記されました。現行の高等学 校の学習指導要領において記載され た内容が、今回は中学校にも適用され たことになります。

言語の学びのためには、たくさん聞い たり読んだりして学ぼうとする言語に触 れることと、実際に言語を使ってコミュ ニケーションをする経験が重要です。 "Practice makes perfect."とよく言 いますが、私は "Experience makes perfect."が大切であると考えていま す。「授業は英語で行うことを基本とす る」という方針は、生徒の外国語による コミュニケーション能力を育成するため のものと考えられます。

先日、ある国際会議に出席する機会

がありました。その会議では、「学習者 の母語使用を大切にする」という合意 形成がありました。日本の方針と反す のではないかと感じられるかもしれま せん。しかし、この会議での「母語重 視」とは、英語を教えることは、学習者 に別の言語 (additional language) を身に付けさせることであり、モノリン ガルからモノリンガルに移行させること が目的ではないという考え方が背景に あることに注目する必要があります。例 えば、日本語を母語とする学習者が、 日本語の能力を向上させる機会がな く、代わりに英語の能力を向上させる ような状況では、日本語のモノリンガ ルから英語のモノリンガルに移行を目 指していると考えられます(世界を見る と、このような状況で英語が教えられ ていることが多々あります)。そのよう な状況に対して、異を唱えるのが、母語 を大切にするという考え方です。

日本に立ち返ってみると、今回の学 習指導要領では、国語と外国語を含 めた言語能力の向上がさまざまな学び の核となるとして、外国語だけではなく 日本語の能力の向上も重視されてい ます。英語に触れる機会や英語を使う 機会を増やすことは、生徒が日本語に 加えて英語というもう1つの言語を獲 得することを促すためにも重要です。

場面・目的・状況に応じて「考えなが ら」言語を使う力の育成

学習指導要領の外国語科において は、場面・目的・状況に応じて「考えなが ら」言語を使うことが重視されています。

これは、このような力が外国語科におけ る思考力・判断力・表現力であると考え られるからでしょう。コミュニケーション を行う目的・場面・状況などに応じて、ど のように内容を整理したらよいのか、何 を伝えたらよいのか、また、どのように表 現したらよいのかなど、深く考え、適切に 判断し表現する必要があります。

例えば、ALT と会話しているなか で、"What sport do you like?"と聞 かれたとします。"Baseball."と単語 だけで答える生徒がいるかもしれませ ん。一方で、別の生徒は、しばらく黙っ てしまい、一生懸命に考えて"I like baseball. "と答えたとしましょう。会 話という場面で、なおかつALTと面と向 かってやり取りをしているという状況に おいては、時間をかけてフルセンテンス で答えるよりは即座に "Baseball."と 相手の求める情報を伝えることの方が 適切です。"I like baseball."と答えた 生徒は、知識・技能は身に付いていたと しても場面に応じた言語使用ができて いないと捉えることができます。もちろ ん、"Baseball、"だけでは不適切な場 面・目的・状況もあります。

このように中学校の英語教育では、 場面・目的・状況を意識させながら、思 考力・判断力・表現力を活用するような 言語使用の経験を積ませ、場面・目的・ 状況に応じて適切に英語を使用できる 力を育成することが求められています。

今回は次期学習指導要領において 中学校の英語教育に求められることを 整理しました。次回から、指導例を紹 介しながら具体的に考えます。

文部科学省 「中学校学習指導要領室 第9節 外国語」より一部抜粋

新教育課程 に向けて

小学校編

外国語教科化における 文字指導のあり方

〔連載〕第1回

小学校の外国語科は、 これまでの外国語活動と何が違うのか

愛知県立大学 外国語学部 准教授 池田 周

2016年12月21日の中央教育審議会において「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」(答申)が取りまとめられ、小学校段階における外国語教育の内容、学習過程の改善・充実のあり方も明らかになりました。今回は、この方向性を理解するとともに、新たに高学年の外国語科で導入される「読むこと」「書くこと」がどのような扱いとなるのかを考えていきたいと思います。

「小学校の外国語教育における 改善・充実」の方向性

答申により、小・中・高等学校を通じた外国語教育で育成を目指す「資質・能力」、および外国語学習の本質的意義の中核となる「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」が整理されました。新学習指導要領における教科等の目標は、これらに基づいて表されています。小学校段階の外国語教育では、まず中学年に「外国語活動」(年間35単位時間)が導入されることになりました。そして外国語を用いた「聞くこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」の3領域を中心とする言語活動を通して、言語や文化について体験的

に理解を深め、外国語の音声や基本 的な表現などに慣れ親しませ、外国 語学習への動機付けを高めながらコ ミュニケーションを図る素地となる資 質・能力を育成します。

高学年では、教科としての外国語教育のうち基礎的なものとして、中学年から高学年および中学校への学びの連続性を持たせながら、これまでの「聞くこと」「話すこと」を中心とする体験的な活動に加え、「読むこと」「書くこと」の領域を扱う言語活動を通して、より系統性を持たせた指導(教科型)を行います。外国語科(年間70単位時間)として、英語学習の特質を踏まえながら、領域別に設定された目標に従い、コミュニケーションを図

る基礎となる資質・能力を一体的に 育成するのです。そして言語能力向 上の観点から、新たに①アルファベットの文字や単語などの認識、②日本 語と英語の音声の違いやそれぞれの 特徴への気付き、③語順の違いなど 文構造への気付きといった、言語能 力向上の観点から言葉の仕組みの理 解などを促す指導を行います。

小学校外国語科における 「読むこと」「書くこと」

小学校「外国語科」は、単に中学校 で学ぶ内容を小学校高学年に前倒し するために位置付けられたのではあ りません。答申には、身近なことに関 する基本的な表現によって各領域の

Chika IKEDA

池田 周 (いけだ・ちか)

愛知県立大学外国語学部准教授。英国ウォーリック大学博士課程修了。博士(英語教育·応用言語学)。小学校英語教育学会愛知支部理事、「愛知県義務教育問題研究協議会専門部会」委員、文部科学省「小学校の新たな外国語教育における補助教材の検証及び新教材の開発に関する検討委員会」委員などを努める。外国語としての英語リテラシー習得について、小・中・高等学校を通した指導のあり方、および国語科と外国語科の連携に関心をもつ。



豊かな言語活動を行うため、発達の 段階に応じた「読むこと」「書くこと」 に慣れ親しみ、積極的に英語を読も うとしたり書こうとしたりする態度を 育成することを含めた初歩的な運用 能力を養うと述べられています。つま り、その言語活動の中心となるのは、 あくまでも「聞くこと」「話すこと」で あり、「読むこと」「書くこと」を「慣れ 親しませ、興味を育てる」形で取り入 れながら、教科として総合的・系統的 な指導を行うことが分かります。

具体的な「読むこと」「書くこと」の 扱いについては、次のように考えるこ とができます。

「読むこと」

- ●日常生活で目にする身近なアルファベットの文字(大文字・小文字の活字体)を見て、それが何の文字か、また大文字か小文字かの違いなどが分かる(識別できる)ようにするとともに、その文字の読み方(名前)を適切に言えるようにする。
- ●「聞くこと」「話すこと」を通して十分 に慣れ親しんだ簡単な語句や基本 的な表現の綴りを見て、意味が理解 できるようにする。

「書くこと」

- ●例えば自分の名前を書くためなど、 目的に応じて必要な文字が分かり、 それを活字体で4本の罫線上に正 確に書くことができるようにする。
- ●十分に「聞いたり」「話したり」した 簡単な語句や基本的な表現を、活

字体で正確に書き写すことができるようにする。

●自分自身や身近な事柄について書き 表してみたいことを、十分に「聞いた り」「話したり」した簡単な語句や基 本的な表現を使って、例文を見なが ら書くことができるようにする。

ここで重要なのは、「読んだり」「書いたり」することで、児童が日本語とは違う英語の仕組みに興味を持つような活動を取り入れることです。

例えば、文字のまとまり(=単語)の読み書きを通して、単語を構成する個々の文字の音がその読み方(名前)と異なることに気付かせたり、語句や文の書き写しをするなかで語順など文構造への気付きを促すために、表わしたい内容に応じて文章の一部を入れ替えさせたりすることができます。また、音声で親しんだ定型表現などをまとまりとして書き写し、視覚イメージを持たせる活動もあります。

小学校外国語科では、各領域を発達の段階に応じてバランス良く扱うことが求められます。これは必ずしも「全ての領域を同じ割合で扱う」ことを意図しているわけではありません。児童の発達段階や興味・関心などに応じて「最適なタイミング、方法、時間配分で扱う」ことを意図します。文字を扱うまでには、良質な音声インプットに十分触れておかねばなりません。また、「聞くこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」で活用できるようになった語句や表現全てを、

「読むこと」「書くこと」で扱う必要はありません。「何を」「何のために」聞いたり話したり、さらには読んだり書いたりするのかを明確にして言語活動を行うことが大切なのです。

中学校外国語科へ 円滑に接続するために

文字を「読むこと」「書くこと」に限ってみると、中学校外国語科への接続を考え、小学校段階で少なくとも「アルファベットの文字を見て識別する、単語の読み方(名前)を発音する、そして活字体で正確に罫線上に書く」ことは定着に近いレベルまで高めておくのがよいと考えられます。その先の単語の読み書きについては、児童の「読んでみたい」「書いてみたい」という興味・関心に合わせて、また文字を介することで英語の構造や音声上の特徴への気付きが促されるような形で取り入れる、という扱い方から始めるとよいでしょう。

小学校外国語科では、上述のような形で音声と文字とを関連付けて指導しますが、発音と綴りに関する細かなルールを知識として教え込むことは求められていません。中学年の外国語活動で「聞くこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」を中心に行ってきた体験的活動を引き継ぎ、より高度なコミュニケーションを図る資質・能力を育成する中学校外国語科において「読むこと」「書くこと」を言語活動に含める目的をしっかりと理解しておきましょう。



「高等学校での活用に】

TEAP「団体専用クーポン利用型申込」のご案内

大学入学者選抜において、外部の資格・検定試験を利用した入試制度を導入し、TEAP (Test of English for Academic Purposes)を採用する大学が増加していることを受けて、2016年度はTEAPの4技能志願者が急増した。公益財団法人日本英語検定協会(英検協会)は、2017年度からは「団体専用クーポン利用型申込」による受験を開始する。

学校 (団体) で一括支払い、 公開会場で受験

TEAPの「団体専用クーポン利用型申込」は、受験申込を受験者個人が行い、受験料を学校(団体)が支払うという方式だ。受験会場は一般の申込と同じで、全国12都市(札幌・仙台・埼玉・千葉・東京・神奈川・金沢・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡)で実施している公開会場となる。団体受験責任者は必要な手続きを経たうえで、受験した生徒の成績データを取得し、管理・分析することができる。受験料は、学校経費や公費助成などを利用した支払いが可能であり、受験者が直接支

払い手続きを行わずに受験できる。

「団体専用クーポン利用型申込」の利用を希望する場合の手順は次の通りとなる。

- ①英検協会宛に「団体受験申請書」を 送付(試験実施3~4カ月前)
- ②英検協会にて申請内容の確認後、 「団体受験受け入れ」をご案内
- ③「団体受験受け入れ校専用クーポンコード(以下クーポンコード)」の発行。 英検協会より団体へ伝達(試験実施 9~10週前)
- ④団体にてクーポンコードを受験希望 者に周知
- ⑤申込受付期間中に、受験者各自で

TEAPウェブサイトより、クーポンコードを利用して受験申込手続き

なお、申し込みに際しては、受験者が事前に各自でTEAPウェブサイトより「TEAP ID」を登録しておく必要がある。登録には、カラーの顔写真データ(6カ月以内に撮影)、メールアドレス、TEAP IDとして利用する6~12桁の半角英数字、パスワードを忘れた際に利用する「セキュリティ用の質問」を準備しておく必要がある。

「団体専用クーポン利用型申込」に関するお問い合わせは、英検協会4技能推進課(TEL.03-3266-8486)へ。希望に応じて、団体責任者および生徒向け説明会も行う予定だ。

< 2017年度日程>

| TEAP 第1回 | | 第2回 | 第3回 |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施日 | 7月23日(日) | 10月1日(日) | 12月3日(日) |
| 団体申請期間 (予定) | 3月27日(月)~4月21日(金) | 6月12日(月)~7月 7日(金) | 8月14日(月)~9月 8日(金) |
| クーポンコード引渡期間(予定) | 4月24日(月)~4月28日(金) | 7月10日(月)~7月14日(金) | 9月11日(月)~9月15日(金) |

[大学での活用に]

プレースメントテストにも活用できるTEAP

TEAPは、日本における「大学教育レベルにふさわしい英語力」を測るテストとして開発され、テスト内容は全て大学教育(留学も含む)で遭遇する場面を想定している。そのため、大学入試での利用に限らず、大学入学後のプレースメントテストやアチーブメントテストとしても活用することができる。上智大学での活用例を紹介する。

学生の英語力測定や 成果検証に活用

TEAPで出題される問題は、大学教育で遭遇する語彙・場面・分野(英語で講義を受ける、英語の文献を読み解く、英語で発表を行うなど)を想定した設定・内容であり、アカデミック英語能力の判定に特化している。良質な問題を確保するため、問題は完全非公開であり、事前の調査分析に基づいた質の高い問題だけを利用することで、より精度の高い正確な測定を行うことが可能となっている。

上智大学では、国際教養学部を除く 全新入生のプレースメントテストとして、 TEAP の Listening Test と Reading Testの2技能を受験させ、1年次修了時 には4技能で受験させて1年間の成果 検証としている。また、国際教養学部で は授業の受講に必要な英語力を判定す るためにTEAPを受講資格としている。



上智大学 言語教育研究センター長 吉田 研作 特別招聘教授

同大言語教育研究センター長の吉田 研作特別招聘教授は「上智大学では、 プレースメントテストとして2技能で受 験させ、1年間の成果検証のために、1 年次修了時には4技能で受験をさせて います。TEAPはアカデミック英語の能 力判定テストとして開発されているため、 大学の授業の有効性を検証する手段と なります。さらに、在学中の学生の英語 力伸長を測るために受験させるなど、大 学生活の幅広い場面で活用することが できます」とTEAPを大学で活用するメ リットを述べる。

TEAPのプレースメントテスト活用に 関するお問い合わせは、英検協会4技 能推進課 (TEL. 03-3266-8486)へ。

2017年度 TEAP 試験日程と TEAP CBT 試験概要を公開

【2017年度TEAP試験日程】

2017年度もTEAPは年3回、全国12都市(札幌・仙台・埼玉・千葉・東京・神奈川・金沢・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡)で実施する。試験日程と申込期間は右の通りだ。

| | 試験日 | 申込期間 |
|-------|--------------|--------------------------------|
| 第1回 | 7.000.0 (0) | 5月15日(月)~ 6月18日(日) コンビニ・郵便局ATM |
| カ I 凹 | 7月23日(日) | 5月15日(月)~ 6月29日(木) クレジットカード |
| W-0- | 10 0 1 0 (0) | 7月24日(月)~ 8月27日(日) コンビニ·郵便局ATM |
| 第2回 | 10月1日(日) | 7月24日(月)~ 9月 7日(木) クレジットカード |
| 第3回 | 40 0 0 0 (0) | 9月25日(月)~10月29日(日) コンビニ·郵便局ATM |
| | 12月3日(日) | 9月25日(月)~11月 9日(木) クレジットカード |

【2017年度TEAP CBT試験概要】

TEAP CBT は、従来のTEAPの「大学で学習・研究する際に必要とされる英語運用能力をより正確に測定する」というコンセプトを継承し、さらに、グローバルに活動するために必要とされる実践的な英語運用能力を複合的に測定するテストだ。Speakingまでコンピュータで試験を実施することにより、英語での指示を解釈しながら操作を行うICT問題を導入し、より高度な思考力・判断力・表現力を問う問題を出題する。

2017年度の実施概要は以下の通りだ。

| | 実施概要 | | 2017年度の変更点 |
|----------------|------|-----------|-----------------------|
| 試験日程 | 第1回 | 9月 3日(日) | 年1回の実施から、年2回の実施に増加 |
| 1八次 1年 | 第2回 | 10月22日(日) | 平 1回の美地がり、平 2 回の美地に増加 |
| 試験 | 開催都市 | 東京・大阪 | 具体的な会場は増設を検討中 |
| Speaking テスト形式 | | 録音式 | 「対面式」から「録音式」に変更予定 |

TEAP / TEAP CBT に関する問い合わせ

TEAP

http://www.eiken.or.jp/teap/

お問い合わせ:英検サービスセンター TEAP運営事務局 TEL: 03-3266-6556 ※平日9:30~17:00 (祝日を除く)

高校生・大学生の留学を促進!「トビタテ! 留学 JAPAN」



意欲ある全ての若者に 「自分を知り、世界を知る経験」を!

2013年よりスタートした「トビタテ! 留学 JAPAN」は、日本の高校生・大学生の留学を促進する官民協働キャンペーン だ。プロジェクトディレクターである船橋力氏は、「知らない世界を知ることほど、自分を知る機会はない。視野を広め、視 座を高める学びと成長の機会として、今こそ、留学に挑戦してほしい!」と呼び掛け、2020年までに「留学をすることが当 たり前」になる気運をつくることを目指している。キャンペーン創設の背景と留学の意義について、お話を伺った。

留学が当たり前になる 社会をつくるために

「トビタテ! 留学 JAPAN」は、日本 の高校生・大学生の留学を促進するた め、2013年10月にスタートした官民 協働のキャンペーンだ。「世界は自分の 予想する以上に広く、面白い若者や楽 しいことが多く、ワクワクする場。意欲 ある全ての若者に、留学を通じて、自分 を知り、世界を知る経験をしてほしい」 と語る船橋力氏は、プロジェクトディレ クターとして、「留学が当たり前になる」 社会づくりに邁進している。

幼少期を南米で過ごし、ブラジルで 高校生活を送った船橋氏は、上智大学 を卒業した後、大手総合商社でODAプ ロジェクトに携わり、2000年に起業し て、企業と学校向けの体験型・参加型 の教育プログラムを提供する事業を手 掛けた。2009年には世界経済フォー ラムのヤング・グローバル・リーダーに 選出されてダボス会議に参加し、世界 中から集まった40歳以下のリーダー たちと「2030年に世界がどうあってほ しいか」というビジョンへの到達方法を 定めた行動計画の策定に取り組んでき た。「海外経験もあり、駐在経験もあり ながらも、各国のリーダーたちの情報 量や教養、ディベート力、語学力に圧倒

され、劣等感にさいなまれました。そし て、日本のプレゼンスの低下に危機感 を覚えました」。船橋氏はこの経験によ り、世界を知り発信することの重要性 を再認識したという。

そして2013年4月、下村博文文部

科学大臣(当時)やヤング・グローバル・ リーダーの仲間たちと、今後の日本の教 育について議論する機会を得た。世界 的な金融危機が引き起こされた2008 年のリーマン・ショック以降、経済状況 や世界情勢の悪化により、日本から海 外へ留学する若者の数が減少してい た。また、大学生にとっては、留学が必ず しも単位にはならないこと、就職活動の サイクルが留学のサイクルと合わず、「休 学を伴う留学は就職に不利になるので は」という不安があることから長期留学 が敬遠されるようになっていた。「このま までは日本が世界から取り残されてしま う」。そのような危機感から、船橋氏らの 議論は「意欲や能力のある学生を世界 へ送り出すべきだ」との方向へ進んだ。 同年6月の「2020年までに高校生の 海外留学6万人、大学生の海外留学12 万人へと、現状からの倍増を目指す」と の閣議決定を受け、10月には日本の高 校生・大学生の留学を促進する「トビタ テ! 留学 JAPAN」がスタートした。

希望者自らの計画で実現する 実践活動を伴う留学

キャンペーンの中心的なプロジェクト は、「トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表 プログラム」だ。これは、社会で求めら れる人材や世界で活躍できる人材の育 成を目指して、官民が協働で取り組む 海外留学支援制度だ。民間からの寄 附200億円を目標とし、約1万人の高 校生・大学生を海外へ送り出すことを 計画している。ソフトバンクや三菱商 事をはじめ、公益財団法人 日本英語 検定協会を含む約200の企業・団体 が日本の若者の留学を支援しようとそ の名を連ねる。

プログラムは、大学生向け(全国/ オープン)の、①理系、複合・融合系人 材コース、②新興国コース、③世界トッ プレベル大学等コース、4)多様性人材 コース、地域ごとに募集する⑤地域人 材コース、⑥高校生コースの6コース からなり、学業成績や語学力は問わず、 最短1カ月から最長2年までの留学を 可能とする。毎年、大学生は年2回、高 校生は年1回募集。従来のような学校 が用意する交換留学や海外研修など とは違い、留学希望者自らが留学計画 を立案し、書類審査や面接審査による 選考を経て採用されると、企業等から



船橋 力 (ふなばし・ちから)

文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェク トディレクター。1994年、伊藤忠商事株式会社 入社、アジア等でODAプロジェクトを手掛ける。 2000年、株式会社ウィル・シード設立、代表取 締役社長に就任、企業と学校向けの体験型・参 加型の教育プログラムを提供。2009年、世界 経済フォーラム (ダボス会議) の Young Global Leaderに選出。2011年、一般財団法人教育支 援グローバル基金 Beyond Tomorrow 代表理 事に就任。2012年NPO法人TABLE FOR TWO International 理事に就任。

の寄附による返済不要の奨学金を得 て留学できるというものだ。留学受入 れ先は学校に限らず、研究機関や国際 機関、海外の企業などで、留学先では インターンなどの実践活動を伴うこと を必須とする。また、留学前後には、1 泊2日の事前・事後研修が行われ、グ ローバルに活躍するリーダーたちの講 演を聞いて、議論を通じて視座を高め ていく。支援企業・団体は寄附金を拠 出するだけでなく、書類審査や面接審 **査の段階から選考委員として参加し、** 事前研修では学生・生徒との議論や留 学計画への助言を行う。留学中もメン ターとして、Skypeで留学計画の進捗 を確認するなどの支援を行っている。

「支援企業・団体の方々との関わり を持つことで、派遣留学生たちは、奨 学金を得て留学できることに感謝し、 恩返しをしようと感じているのではな いかと思います」と話す船橋氏。派遣 留学生には、将来のグローバルリー ダーを目指し、留学中に日本の良さを 発信するアンバサダーとなり、帰国後 はエヴァンジェリスト (伝道師) として 留学の機運をつくる活動に取り組むこ とを期待している。

留学はアウェイ体験を自ら乗り越え たくましく成長する機会

船橋氏は研修や講演のたびに、「20 代が終わるまでに3回留学しよう」と呼 び掛けている。その理由を「高校生の

うちに1回、大学生で1回、さらに社会 に出てからもう1回ということです。"子 供たちの65%は大学卒業時に、現在 は存在していない職業に就く""今後 10~20 年程度で、約47%の仕事が自 動化される"といった予測*が先頃、世 界を賑わせました。将来の変化を予測 することが困難な時代を生きていく若 い世代にとっては、社会の変化に受け 身で対処するのではなく、自ら課題を 発見し、他者と協働してその解決を図 り、新たな知や価値を創造する力を持 つことが重要であるとされています。1 度の留学で、1カ国を見ただけで世界 が分かったとは言えません。複数回に わたる留学で、数カ国を見ることによっ て、初めて分かることがあるものです。 自分の手で自分の道を切り開いていく 力をつけるためにも、留学をすることが 重要なのです」と強調する。

船橋氏自身も多様な国籍の人々と切 磋琢磨するなかで、楽しい経験と同時 に苦しい経験もした。そこで初めて、自 分自身のアイデンティティや日本とい う国を客観的に理解することができ、 若いときに、海外で異なる環境、多様 な価値に触れ、他者と協力した経験や 葛藤は、今の自身の「礎」であり「財 産」となっている。

「トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プ ログラム」の派遣留学生たちも、各国へ 飛び立ち、現地の人々と関わり合いな がら、自分の持てる力を発揮して、社会

の課題解決に貢献しようと奮闘してい る。帰国後の成果発表会では、そうし た体験談が数多く報告される。トルコ で進行中の世界最大の吊橋架設現場 にインターンとして参加した大学院生 は、言葉の壁にぶつかりながらも、エン ジニアとしての自覚を持って現地の人々 とコミュニケーションを深め、契約社員 に登用されるほど、現地で評価された。 また、自由な教育活動が認められない 共産主義国のラオスの農村地帯で教 育モデルを提供しようと考えた大学生 は、現地の小学校の先生と一緒にかけ 算九九の歌を考え、わずか15日間で算 数の平均点を大幅に上昇させたという 例もある。「一人一人が独自性に富んだ 留学を実現し、現地でさまざまなアウェ イ体験をしながらも、自分で乗り越え、 今後は日本のために自分の力を発揮 したいとの思いを強くして帰国していま す」と、船橋氏は派遣留学生たちのたく ましい成長ぶりを喜ぶ。

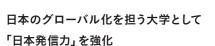
「世界を知らなければ、自分が何者か は分かりません。常識だと考えていたこ とが、海外ではそうではなかったり、弱み だと思っていたことが、強みだったりする かもしれません。必ずしも留学という形 でなくてもよいのですが、なるべく早い時 点で広い世界を知ることが大切だと思 います。船橋氏は、意欲ある若者たち が、海外へ出て視野を広げ、視座を高め て活躍する未来の姿を思い描き、今後 もプロジェクトに情熱を注いでいく。

※キャシー・デビッドソン氏 (ニューヨーク市立大学)の予測: 平成27年2月17日 文部科学省提出資料

世界中の教育機関とネットワークを結び 教育のグローバル化を牽引する先駆者として

東京外国語大学 林 佳世子 理事·副学長 (総括、教育等担当)

東京外国語大学には、世界14地域、27言語の教育体制が用意されている。その対 象は世界全域をカバーし、文字通り日本のグローバル化を牽引し続けてきた外国語 と国際研究専門の大学だ。「スーパーグローバル大学創成支援 (SGU)」構想が始ま るずっと以前から、同大は世界で活躍する人材を輩出し続けてきた。日本中の大学が 国際化を進めるなか、その先駆者としてこれからどこに向かうのだろうか。SGU採択 を機に、改めて同大の果たすべき責任の大きさについて伺った。



学生に外国語を教え、外国に学生を 送り出し、また外国から留学生を受け入 れて、国際社会で活躍する人材を育て る。それが外国語と国際研究を専門と する東京外国語大学の使命だ。近年強 く叫ばれている教育のグローバル化も、 同大にとっては特別なことではない。

SGU採択の意味について、林佳世子 副学長はこう語る。

「本学にとって『グローバル化』はあ まりにも当然すぎたため、大学のグロー バル化競争には戸惑いもありました。 留学に関しても膨大な数の学生が海外 に行っていますが、それが何人なのか、 どのような体制を取っているのかなど について、外部に向けて十分に発信で きていませんでした。SGU採択を機に それらを可視化するとともに、日本の 中での本学の役割を明確にしていくこ とがSGU申請の根幹にあります。

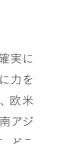
実際のところ同大では、入学時にア ンケートを取ると、留学をしたいと考え る学生は約95%にのぼる。その結果 に対して林副学長は、「ことさらに留学 希望者を増やすというよりも、誰がど

こに行き何を学んでいるのかを確実に 把握して、サポートしていくことに力を 入れていきます。本学の学生は、欧米 圏に限らず、アフリカ、南米、東南アジ アなど世界中に留学しています。どこ に行っても安全の確保や情報提供が できるようにサポートをしていきたいと 思っています」と説明する。

同大の特徴の1つが「研究対象とし て日本を含める」という方針だ。学生 を海外留学に送り出し、そこからさまざ まなことを吸収するだけでなく、世界の 人々が日本のことを学び、研究する際 に、その窓口としての役割を担っていき たい、と林副学長は強調する。

「世界中の言語を教えている本学 は、それぞれの国に日本や日本語を研 究しているカウンターパートとの長いお 付き合いがあります。海外から日本の ことを学びに来る人たちの受け入れも 含めて、SGU構想では『日本発信力』 の強化を強く押し出しました」

そんな思いが、同大が掲げる「世界 から日本へ、日本から世界へ/人と知 の循環を支えるネットワーク中核大学」 というSGU構想名に込められている。



世界各地域の協定校に 日本語教育のサポート拠点を設置

日本の発信力強化を目指し、SGU と共に始まったのが、Global Japan Office (GJO) の開設だ。

林 佳世子 副学長

東京外国語大学の理事・教授も兼任する

同大は、全世界に100以上ある協定 校の中から日本語教育の支援を必要と しているところにオフィスを開設して、 さまざまなサポートに取り組んでいる。 GJOは現在、ミャンマーやエジプトな ど11拠点に広がっており、それぞれの 国で日本語教育や日本への留学相談 の窓口、あるいは日本からのインターン シップ受け入れ支援などを担う機能を 持たせている。その活動は好評で、今 年度中にさらにリトアニアに拠点の設 置が予定されている。

「GJOは、世界の日本語教育や日本 教育をサポートしていくことを目的として います。こうした支援は他の機関でも取 り組んでいますが、まだ十分とは言えま せん。本学は、世界中の日本語教育の 拠点とは昔から強い絆を持っていますか ら、本学からの派遣は、現地のことを知 らない日本語の専門家が教えに行くの とは違った意味を持っています。相手の ニーズや大学の仕組み、教育の状況な

ど十分把握したうえで協力できるのが 強みです」と林副学長は自信を見せる。

柔軟な方法で

日本人と外国人が混じり合う共同教育

世界中の日本語教育支援に貢献す ることは、グローバル化の流れのなか でもちろん重要だ。しかしそれと同時 に、日本人学生の能力や国際性を伸ば していくためにどのようなことができる のだろうか。

「例えば相手国がミャンマーだとした ら、そこに協力することで本学のビルマ 語教育にも大きな力になると考えていま す。本学が展開するJoint Education Program (JEP) では、現地で日本語 を学ぶ学生と、本学でビルマ語を学ぶ 学生が交流しながら、お互いの理解を 深めていきます」と林副学長は説明す る。これはSGU構想に含まれる協定校 との連携強化だが、いわゆるジョイント ディグリーとは別物だという。

「ジョイントディグリーは、大学と大 学がつくる固定的なコースです。これ に対しJEPは、より柔軟な交流を意図 しています。相互派遣型留学以外に も、海外の先生が来日して本学で授業

をする、あるいは遠隔講義システムを 使って同じ講義を受けるなど、いろいろ なパターンがあります。そうした柔軟な 方法が、世界中の大学と交流する本学 にとって一番効果的な共同教育だと考 えています」

全ての学部・コースが 英語だけで卒業できる単位認定制度を

文部科学省がSGU採択大学に求め る達成目標として、英語など外国語の みで卒業できるコースがある。しかし 同大では、特別に英語だけのコースは 設置しない方針だという。その代わり に、全ての学部・コースが英語だけで も卒業できるだけの単位をそろえられ る仕組みをつくろうとしている。それが 『グローバル人材育成言語教育プログ ラム(GLIP)』だ。林副学長はプログラ ムについて、次のように説明する。

「このプログラムによって英語による 授業を続々と増やしています。聴きたい 講義がたまたま日本語だった、あるいは たまたま英語だった、という環境が本学 には一番適しているからです」

最初30科目ほどで始まった同プログ ラムの英語による授業は、現在100科 目を超える。これから着任する多くの教 員には、国籍にかかわらず必ず英語での 授業を持つことを条件付けているため、 今後もこのプログラムは拡大していく予 定だという。

英語ともう1つの言語を学び 世界を俯瞰できる人材を育成

世界中の現地語を教えることが同 大の最大の特徴だが、英語以外の言 語を専攻したとしても、英語を基本と して、それ以外の地域言語を学ぶとい うことが教育の根幹にあるという。「例 えばチェコ語を専攻したら、チェコの ことだけ学べばよいということにはな りません。日本とチェコを知って、そこ から世界全体を見渡せるような人材を 育てたいと思っています。そうした多 角的な視点を持ち、世界で活躍したい という方に入学してきてほしいですね」 と林副学長は期待する。

東京外国語大学には、単に外国語 を学ぶためだけでなく、国際的な視野 を持った学生が数多く集まってくる。 世界的なネットワークの広さを生かし て教育を展開する同大は、今後も日本 のグローバル化を牽引し続けていく。

Top Global University

大学の国際化が進めば 大学入試や高校教育も変わっていく

Super Global High School Empanyon-Vindred School Empanyon-Vindred Rights of the School of the School

第11回 2014年度 (平成26年) 指定校の中間評価を受けて SGHの研究開発、その成果と課題

2014年度にスーパーグローバルハイスクール (SGH) の指定を受けた

56校の研究開発の進捗状況等に関する「中間評価」の結果が、2016年9月に公表された。 5年間の指定期間も残すところ、あと2年となり、「中間評価」は今後の研究開発の内容の見直しや 事業の効率的な実施を図ることを目的とするものだ。

文部科学省初等中等教育局国際教育課の鈴木慰人課長補佐と、同課計画指導係の矢田裕美係長に、 SGH事業のこれまでの成果と今後の課題についてお話を伺った。





文部科学省 初等中等教育局 国際教育課 鈴木 慰人 課長補佐

全校での協力体制が求められる SGH事業

「中間評価」は、外部の有識者による SGH企画評価会議協力者によって行わ れた。2014年度の指定校56校からそ れぞれ提出された書面での審査をもと に、書面から研究開発の進捗状況や校 内での連携体制、牛徒の成長の様子な どを読み取ることができないような場合 には、直接ヒアリングも行い、次のような 6段階の評価がなされた。

中間評価の結果について

- ●「優れた取組状況であり、研究開発の ねらいの達成が見込まれ、更なる発展 が期待される」(4校)
- 「これまでの努力を継続することによっ」 て、研究開発のねらいの達成が可能と 判断される」(16 校)

- 「これまでの努力を継続することによっ て、研究開発のねらいの達成がおおむ ね可能と判断されるものの、併せて取 組改善の努力も求められる」(19校)
- ●「研究開発のねらいを達成するには、 助言等を考慮し、一層努力することが 必要と判断される」(15 校)
- 「このままでは研究開発のねらいを達 成することは難しいと思われるので、 助言等に留意し、当初計画の変更等 の対応が必要と判断される」(2校)
- ●「現在までの進捗状況等に鑑み、今後 の努力を待っても研究開発のねらい の達成は困難であり、スーパーグロー バルハイスクールの趣旨及び事業目的 に反し、又は沿わないと思われるので、 経費の大幅な減額又は指定の解除が 適当と判断される」(0校)

鈴木課長補佐によれば、今回の評価 においては、全校での協力体制を築くこ とができているか、ということが大きなポ イントとなったという。SGH事業は英語 科だけの取り組みではない。グローバル リーダーを育成することを目指すSGH事 業では、世界的な課題を生徒が発見し、 調べ学習などをして、解決策を考えていく という研究に取り組むため、他教科の先 生方との連携も必要となる。

「各校から報告される進捗状況を見 ると、教員だけが熱心に取り組んで生徒 がついていくことができていなかったり、 生徒は意欲的に活動しているのに教員 の教え導く力が不足していたりするなど、 教員と生徒が一体となって取り組む体 制づくりにおいて学校によってばらつき がありました。そうしたなかで優れた取 り組み状況であるとされた4校(渋谷教

育学園渋谷高等学校、名城大学附属高 等学校、島根県立出雲高等学校、広島女 学院中学高等学校)は、全校での研究 協力体制が整っていることが、高く評価 されたのです。

また、矢田係長は「どの指定校も熱心 に研究開発に取り組まれていることは 承知しています」と前置きしたうえで、「評 価には客観性が必要です。そこで、SGH 企画評価会議協力者の先生方には、各 校から提出された書類をもとに、学校全 体でどのように研究開発に取り組み、教 員が協力し合い、生徒がどのように成長 したのかという観点から評価していただ いています」と言葉を添えた。

中間評価を今後の改善に 生かしてほしい

全校での研究体制に対する評価に加 え、学校や地域の特色を生かした課題研 究に取り組んでいることも評価の観点と なった。例えば、広島女学院中学高等学 校の場合、「平和」「核」といった地域性も 反映したテーマについて多様なアプロー チで生徒に重層的に考えさせ、体験させ るアクティブ・ラーニングの手法も取り入 れている。鈴木課長補佐は「研究成果 物のレベルも高く、生徒の英語力も非常 に伸び、同時に教員の指導力も向上し、相 乗効果が見られました」と説明する。

SGH事業は、校内だけで研究開発を 行うのではなく、国内の大学や地域の企 業との連携、海外の高校や大学、企業な どとの連携も求められる。そのため、研 究内容について、英語で発信したり、海 外の高校生や大学生とディスカッション をしたりといった機会を持ち、生徒の英 語力やコミュニケーション能力を引き上 げることができているか、といったことも 評価される。

鈴木課長補佐は「特に地方の公立校 でSGH指定を受けた学校は、地域の核 となって、研究開発のカリキュラムや研究 体制を近隣の学校へ波及させていく役 割を担います。指定校によっては、地元 企業に経営戦略を提案したり、グローカ ルの視点を持って発信したり、といった 地域性を生かした特色ある取り組みを 行うケースが多いようです」と述べる。

一方で、「研究開発のねらいを達成す るには、助言等を考慮し、一層努力する ことが必要と判断される」や「このまま では研究開発のねらいを達成すること は難しいと思われるので、助言等に留意 し、当初計画の変更等の対応が必要と 判断される」といった厳しい評価を得た 学校に対しては改善点を示し、今後は視 学官や教科調査官による助言も踏まえ て、方向性を見直してブラッシュアップし てほしい、としている。

矢田係長は「指定校の多くは、地元 の名だたる伝統校、進学校として地域の 方々から期待されている学校ばかりで す。厳しい評価が出たことにより、ある種 の衝撃が走ったかもしれません。生徒 の学力や能力も高く、申し分のない学校 ながらも、SGHとして研究開発を進める うえでは、学校全体での取り組みとして 力を入れていただきたいということを示 しています。今後まだ2年間の指定期間 を残していますので、そのなかで今回の 評価を踏まえて、改善されていくことを期 待しています」と話す。

グローバルリーダーの素地が SGHでつくられている

2016年12月には、「SGH第1回全国 フォーラム」が開催され、指定校の代表 生徒たちが英語でディスカッションを 行った。代表生徒たちがSGH課題研究 を通して学んだことや、将来への抱負な どについて論じ合う姿を目の当たりにし た参加者からは「全員が堂々としていて、 自分の意見を英語で主張するなど、今後 の成長が楽しみだ」などといった感想が 挙がったという。

「代表生徒たちは日本で英語教育 を受けて育ち、SGH指定校に入学して 力を伸ばしてきた生徒がほとんどでし た。個性豊かで、自分をしっかり持ち、 主張することができる牛徒に成長して いる姿がディスカッションの様子から 見て取れました」と話す鈴木課長補佐。 「SGHの生徒たちはまさに、グローバル リーダーとしてふさわしい人物へと成長 しており、今後の活躍が大いに期待でき ます。ディスカッションでの生徒たちの 様子を通して、SGH事業が目指してい るグローバルリーダーの育成という目的 に希望を持つことができました」と安堵 の表情を浮かべる。

SGH事業も開始から3年が経ち、い よいよ指定校で学んだ生徒たちが大学 へと進学するときを迎えた。

鈴木課長補佐は「SGHで学んだ生徒 たちが今後、どのような進学をして、学び を深めて、キャリアを築いていくのかにつ いては、受け入れる側である大学におい て、どのような人材育成がなされるのかと いうことが今後の課題となるでしょう」と 述べる。各指定校には生徒たちが、高校 卒業後にどのような進路を歩み、海外と どのようなつながりを持ち、留学をしたの かといったことも追跡調査を行うよう促し ている。生徒たちは大学を卒業したのち、 変化の激しい社会に出て行き、日本国内 だけでなく、世界のどこにあっても多様な 背景を持つ方々と協働する場面に遭遇す るだろう。矢田係長は「SGHでの研究を 通して、生徒たちは自ら課題を見つけ、思 考を深め、海外の同世代の人たちと協働 する体験を積んでいます。そうした取り組 みは、生徒たちが将来、社会で活躍するう えでの素地となるでしょう。SGHの取り組 みは、指定校だけのものではありません。 全ての生徒たちに同じように力を付けて いってほしいと思います。未来を担う生徒 たちを皆さんで育てていきましょう」と呼 び掛けた。

36 | 英語情報 2017 Spring 英語情報 2017 Spring 37

グローバルに活躍する人々から 高校生へ送られる熱いメッセージ

「第2回高校生国際シンポジウム」は、 「21世紀に生きる我々は、より良い未来 を実現するために何をすべきか」をテー マに、一般社団法人 Glocal Academy と鹿児島県立甲南高等学校の共催で開 かれた。SGHやSSH指定校の生徒た ちが、「日頃の研究成果をプレゼンテー ションやポスター発表としてまとめ、自ら の考えを発表するとともに、生徒間の交 流を深めながら、今後の研究の指針を 得ること」を目的としている。鹿児島県 内をはじめ、宮崎県や長崎県などから 450名を超える参加者が集まり、なかに は山梨県や兵庫県の生徒たちも名を連 ねた。開催にあたっては、甲南高等学校 の生徒たちが実行委員会を組織し、司 会進行から会場設営、審査員のアテンド や参加者のアンケート回収まで、積極的 に運営に携わっていた。

初日は、国際連合地域開発センター (UNCRD) 所長の高瀬千賀子氏による 基調講演に始まった。演題は「これから を生きる君たちへのメッセージ」。高瀬 氏は、国連持続可能な開発委員会や国 連経済社会理事会の運営に携わってき た経歴を持ち、2012年よりUNCRDの 所長を務めている。自身が築いてきた キャリアを紹介しながら、国際舞台で働 くことの意義などについて述べた。

パネルディスカッションは、高瀬氏のほ か、アリソン・ビール氏 (オックスフォード 大学日本事務所代表)、伊丹利明氏(宮 崎大学国際連携担当副学長)、日下部元 雄氏(株式会社オープン・シティー研究 所所長,元世界銀行副総裁)、西橋瑞穂 氏(鹿児島県教育庁高校教育課指導 監)、益田隆司氏(東京大学名誉教授・ 公益財団法人船井情報科学振興財団 業務執行理事)をパネラーに迎えた。高 校生に必要な自立と多様性を身に付け るために、「日頃から物事を総体的に見 つめ、物事の本質を見出すくせをつける。 「課題解決学習は世界へ目を向けるきっ かけになる」、「自分が本当にやりたいと 思うことをして本領を発揮する、「本気 で解決したいことを解決する力を身に付 ける」などの意見が挙がっていた。

身近な課題から世界的な課題まで 幅広いテーマで研究発表

「研究発表コンテスト」は2日間にわ たり、プレゼンテーションの部とポス ター発表の部の2部門で行われた。生 徒たちは国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」に関連するものや、自然科学 分野から選んだ自身の研究テーマにつ いて、英語または日本語で発表する。 規定時間はプレゼンテーションの部 が、一人当たり12分間のプレゼンテー ションと質疑応答8分間の計20分間、 ポスター発表の部は、発表時間7分間 と質疑応答3分間の計10分間とされ た。生徒たちはそれぞれ、地域活性化、 女性の社会進出、教育、平和、環境問 題など、地域が抱える課題から日本や 世界の課題までを扱い、どのように解 決すべきかを考察し、今後の展望まで 見据えた発表をした。どの生徒も研究

を進める際には、文献にあたって調べる だけに終わらせず、大学や企業の協力 のもとで、調査・実験・分析をしていた。 発表の様子からは、思考力・判断力・表 現力に加え、主体的に学ぶ姿勢が育ま れていることが見て取れた。

このコンテストでは、各部門とも①研 究背景、②研究目的・リサーチクエス チョン、③研究手法、④結果・考察、⑤ 結論・展望、⑥引用・参考文献、⑦デザ インや体裁、⑧プレゼンテーションスキ ル・コミュニケーション―の8項目で審 査を受ける。生徒たちは熱のこもった発 表を繰り広げ、審査員からの質問に対し ても堂々と答えていた。

批判的思考力を身に付けることが大切

2日目の午後は「研究発表コンテス ト」の講評があった。日下部氏は「これ からの社会課題にどのように向き合えば よいのか」との視点から、課題研究型の 学習が大切であるとし、「課題の選び方」 「リサーチクエスチョンの設定」「方法論 (研究の仕方)」「実際に行動するための 戦略」を重視すべきだとアドバイスした。 そして、「どの研究もレベルが高く、この取 り組みが全国に広がることを期待してい ます。まず身の回りから課題を見つけて 研究を始めると、いつしか世界の課題へ 結び付くものです。大学や自治体にも働 き掛けていけば、きっと社会を変える大 きな力になるでしょう」と述べた。

続くゲスト講演では益田氏が、パネル ディスカッションで議論された「多様性」 に触れ、多様性のある社会の実現には、

個々の人の「批判的思考力」を育むこと が不可欠である、と主張。「1つの課題や 意見に対して、なぜそうなのかと考えた り、多方面から考えたりする視点を持っ て、深掘りしていくことが大切。皆さんが グローバル社会で生きていくには、海外 へ出て多様性を知り、批判的思考力を身 に付けることも必要です」と強調した。

身近な課題から世界へ目を向ける

表彰式ではプレゼンテーションの部、

ポスター発表の部からそれぞれ、最優秀 賞、優秀賞、優良賞の受賞者がスクリー ンに映し出された。自分や友達の名前を 見つけた生徒たちの歓声が上がり、会場 はお互いをたたえ合う温かい拍手で包ま れた。そして、プレゼンテーションの部で 最優秀賞に輝いた谷口智海さん(甲南 高等学校2年)が、英語でプレゼンテー ションを披露した。日本における災害時 のトイレ不足に焦点を当てた谷口さんは、 「災害時に全ての人々が衛生的なトイレ を利用できるようにするために、何が必 要か」をリサーチクエスチョンに設定して 研究を進めた。そして、阪神淡路大震災 や東日本大震災、熊本地震等の際のトイ レの不足状況、自治体の対処や今後の 計画、鹿児島市民の災害時のトイレに対 する意識などを調査したほか、甲南高等 学校内に飢餓や貧困に苦しむ人々を支 援する「ハンガーゼロ自販機」と、水や食 糧に加え、簡易トイレを備えた「備蓄ボッ クス」を設置していることを誰にも分かる ようにする。それにより、災害時のトイレ 不足について考えるきっかけを作りたい と提案した。さらに、今後は開発途上国 でのトイレ環境を向上する研究も進める 意向があると発表した。

最後に、シンポジウム主催者の岡本尚 也氏は「社会の状況が変化するなかで、 課題研究を通して学んだ物事の考え方 は未来を切り開く力となります。目の前 に広がる未来を大切にし、たくさんの人 と出会い協力していくことで、より良い明 日をつくり出していくことができるでしょ う」とエールを送り、シンポジウムは幕を 閉じた。来年も同会場で1月31日、2月 1日実施予定である。

研究発表入賞者の発表より

プレゼンテーションの部 Oral Session

分野3 優秀賞 岩元 美月さん 鹿児島県立甲南高等学校2年



▽-▽ 「日本に住むハーフにとって住みやすい環境を!」

グローバル化が進むなか、国際移住は今後も続く現象であり、社会において文化的、人 種的多様性をいかに受け入れていくかを検討することは、先進国にとって避けて通るこ とのできない重要課題です。私は日本人と外国人の間に生まれた子供たちに対する社 会のイメージと、実際に子供たちが人種差別によるいじめを受けて抱える悩みなどの実 態調査を行いました。人種差別をなくすためには、小学生のうちから多様性について考 え、ハーフへの理解を促す授業を取り入れることが必要です。近いうちに、小学校で「多 様性」をテーマにした授業を実践させてもらいたいと考えています。今後もさらに研究を 深め、ハーフへの理解を促していきたいと思います。

分野1 優良賞

小山田 晃輔さん 横尾 亮太朗さん 岩崎 綾香さん 佐藤 歩さん 宮崎県立宮崎大宮高等学校2年



「グローバルたくあんプロジェクト ―相手国調査で作る県産品輸出プロセス―」

宮崎県の企業「道本食品」は、「たくあん」の海外進出に取り組んでいますが、「海外での たくあんの認知度が低く、受け入れてもらえない」という課題を抱えています。それを解決 するため、私たちは海外で受け入れられやすいたくあんを作ろうと考えました。そこで、来 県者が多いベトナムを対象国とし、道本食品や宮崎大学、宮崎県工業技術センターの協 力のもと、ベトナムと日本の調味料を用いて、濃度や配合を変えるなどの実験をし、ベトナ ムで好まれる味を作りました。今後はその調味料に大根を漬けて、ベトナムからの留学生 に試食してもらい、ベトナムで受け入れられるたくあんの開発を進めるほか、他の県産品 でも海外向けの味を開発していきたいと考えています。

ポスター発表の部 Poster Session

分野3 最優秀賞

児玉 沙江さん 鹿児島県立甲南高等学校2年



英語情報 2017 Spring 39

「テーマ」「女性議員を増加させるには」

現在鹿児島県内では男女間の賃金格差が大きく、就業率やワークライフバランスの問題 があります。また、政治面においても男女格差があり、鹿児島県議会議員に占める女性の 割合は7.8%と低いのが現状です。賃金の低い女性が出馬をすることの厳しさがこうし た現状を招いているのです。高校生の私が女性議員を増やすためにできることは、高校 生向けに女性議員の重要性を説く講義を開講すること、高校生に議員の仕事を身近に 感じてもらうために、インターンシップを紹介することです。これらの提案によって、女性 議員の重要性や政治への関心を高めていきたいと思います。今後は、女性の社会進出 が進んでいるデンマークで日本との比較調査を進めていく予定です。

38 | 英語情報 2017 Spring



連載

「学習到達目標と指導、

第1回

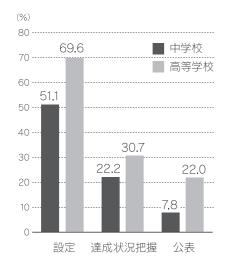
なぜ、「学習到達目標と指導、評価の一体化」が必要なのか

CAN-DOリストの形での 学習到達目標とは?

学習指導要領に基づき、各中・高等学校が生徒に求められる英語力を達成するために、英語を使って何ができるのかを具体的に設定した目標が、「『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標」です。中・高等学校の教員はもとより、小学校高学年における英語の教科化が2020年度に迫った今、小学校教員もCAN-DOリストについての見識を深めておくことが大切です。

CAN-DOリストの設定・活用の現状

文部科学省による「平成27年度 英語教育実施状況調査」によると、中・高等学校における「CAN-DOリストの設定」「達成状況の把握」「公表」の状況は【図1】の通りです。「CAN-DOリストの形での学習到達目標を設定している学校」は、中学校で約半数、高等学校で3分の2あまりです。しかし、「学習到達目標の達成状況を把握している学校」の割合は、中学校で22.2%、高等学校で30.7%と下がります。さらに「学習到達目標の公表」となると、中学校で7.8%、高等学校で22.0%にとどまります。



【図1】「CAN-DOリスト」による学習到達目標の 設定・達成状況の把握・公表

以下は学習到達目標の設定から指導・ 評価、そして目標の見直しまでの手順です。

- ①「CAN-DOリスト」の形での学習到達 目標の設定 (卒業時及び各学年)
- ②年間指導計画と単元計画への反映
- ③授業(指導)と評価
- ④達成状況の把握(学年目標が達成されたかどうかの評価)
- ⑤学習到達目標の見直し

前述した調査結果と合わせると、①はなんとか進んでいるものの、④までは多くの学校が到達しておらず(達成状況の未把握中学校77.8%、高校69.3%)、②か③のプロセスで、一体化の流れが

途切れてしまっています。評価や達成状 況調査で集められた情報を教育の改善 に役立てることができなくなっているの です。また、学習到達目標の公表は限定 的で、生徒や保護者と目標を共有するこ とができていない現状が浮かび上がって きました。

学習到達目標、指導、評価の

一体化の重要性

(1)目標の明確化と指導と評価の具体化

学習到達目標を作成することにより、中学校または高等学校の卒業時に、どのような英語の能力を持った生徒を育てたいのかが明確になります。それを基に、指導方法と育成した能力の評価方法をより具体的に検討することができます。CAN-DOリストを指導や評価に結び付けている先生方からは、指導する技能が明確になり、授業と評価の質が高まったという声が大変多く聞かれます。

(2)学習指導要領を踏まえた4技能の育成

中学校や高等学校では受験を意識 するあまり、学習指導要領で求められ る4技能のバランスの取れた指導がお ろそかになっているということはありま せんか。しかし、CAN-DOリストの形で の学習到達目標を設定することにより、 4技能それぞれの目標を設定し、コミュ

評価の一体化」を目指して

現在、中学校や高等学校には「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標を作成することが求められています。 しかし、CAN-DOリストを設定している学校は増えてきているものの、

それを指導・評価と一体化して活用することができているかというと、まだまだではないでしょうか。 そこで今回は、「なぜ学習到達目標と指導、評価の一体化が必要なのか」について検討します。

ニケーション能力育成のためにバランス の取れた指導をすることが可能となる のです。

(3)学習目標の共有と公平な授業と評価

学習目標を教員同士で共有することにより、英語科がチームとして同じ目標に向かうことができるようになります。かつて私が勤務していた高等学校の授業公開で、同僚がちょうど私と同じパートの授業を行いました。その際、授業案に書いてある目標を見てハッとしたことがあります。私の指導案の目標とはまったく異なり、高めようとしている技能も異なるものだったからです。このような違いは、最終的に生徒に不利益や不公平をもたらします。どのクラスにも公平で質の高い授業を展開し、評価するためにも、目標の共有は非常に重要です。

また、「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標を生徒とも共有したり、それに基づいた自己評価をしたりすることにより、生徒も教員と同じ目標に向けて、より自発的に授業に取り組むことができま

す。また、英語で何ができるようになっ たのかを実感し、自信と自己効力感を高 めることができます。

(4) PDCAサイクルで指導・評価の改善

P.40で述べた学習到達目標設定から 指導・評価、そして目標の見直しまでの手順は、PDCAサイクル(P=Plan, D=Do, C=Check, A=Action)として指導や評価の改善にも役立てることができます。プロセスの①と②がPlan、③がDo、④がCheck、⑤が次年度に向けたActionとなります。このサイクルを通して、指導や評価が学習到達目標に合致していたか、指導の効果があったか、指導した技能を評価しているかなどを確認し、うまくいっていないところについては改善していくことが可能です。

(5)授業の質の保証

学習到達目標は、努力目標ではありません。授業を受け、活動に参加し、求められる家庭学習を行えば、ほとんどの生徒が達成可能な目標であるべきです。 学習到達目標を明示し、それに基づいて 指導を行い、目標とした技能を確実に生徒に習得させることにより、生徒・保護者に対しての授業の質を保証することにつながります。

生徒のコミュニケーション能力向上のために

CAN-DOリストの形での学習到達目 標を設定し、それを年間指導計画や単 元指導に反映させ、授業と評価を実施し ていくといった「学習到達目標と指導、 評価の一体化」と行うことは、確かに容 易なことではありません。しかし、卒業 時までに求められる能力や各学年の学 習到達目標など、中長期的な目標は毎 年変わるものではありませんので、一度 一体化をすることができたら、2年目以 降は、見直しと改善に焦点が移り、労力 は大幅に減少します。一方で、教員や生 徒は3年間を見通した目標の共有が定 着するとともに、見直しと改善が進むた め、指導や評価の質は向上し、さらには 生徒のコミュニケーション能力の向上に も大きく寄与するのです。

【参考文献】文部科学省初等中等教育局.(2013).『各中·高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定のための手引き』.東京:文部科学省.



深澤 直 (ふかざわ・まこと)

琉球大学教育学部 准教授。茨城県生まれ。中央大学文学部卒業。米国Saint Michael's College大学院修士課程、筑波大学大学院修士課程修了。茨城県立竹園高等学校教諭、茨城大学人文学部 准教授を経て、2015年より現職。専門は主に英語教育学・評価論。

英語初学者にとっての英語



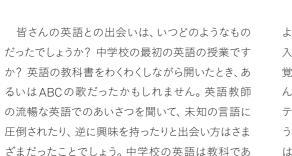
英検4級・5級で広がる

英語の世界



鹿児島純心女子大学 国際人間学部 教授。専門は応用言語学。英語教育。2001年度より小学校英語活動に関わる。小学校 英語関連の授業科目としては「児童英語」「児童英語演習」「児童英語教育実習」「教材開発演習」等と担当し、外国語活動を 旨導できる人材育成に取り組んでいる。小学校教員向け小学校英語セミナーを毎年開いている。

いつ、どのように英語と出会いましたか?



り、教科書を使って学習するため、音だけではなく文

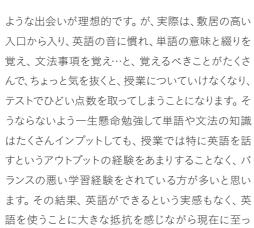
字も最初から登場し、英語に初めて出会った学習者

にとってはハードルの高いものになります。語学の学

習は継続して行うことが肝心ですから、そのためには

入口の敷居が低く、英語に対する興味・関心が続く

ている場合がほとんどだったのではないでしょうか。



子供たちの言葉に耳を傾け語り掛けてみましょう。



では、現在の小学生はどうでしょうか? 必修化され ている外国語活動で5、6年生は、まず英語の音声と の出会いから始まります。担任の先生が一生懸命英 語を話すのを聞いて、あるいは ALT と担任の先生が楽 しそうに英語で話すのを聞いて、子供たちは「何と言っ ているのだろう」と興味を持つことでしょう。そして自分 でも口ずさんだり、みんなで声に出したりするうちに次 第に英語に慣れ親しんできて、ALTや友達に話し掛け てみるでしょう。それが相手に通じると、英語ができた という達成感を味わうのです。入口の敷居が低く、しか も自然でストレスの少ない状態で英語に慣れ親しみ、 英語を使った達成感を得られることで、英語は楽しい、 もっと話したいという動機付けにつながるのです。

このようなスムーズな展開にするには、教師の配 慮が必要です。教師が発する英語は児童にとって興 味のある話題であること、シンプルな英語であるこ と。そして、発する言葉とその場の状況が合ってい て、言葉の意味が推測できること、あるいは意味の 推測につながる手掛かりが視覚としてあること、その 表現が繰り返し出てくることも大事です。何の脈絡も なく、ただ英語を話しても児童には雑音にしか聞こえ ませんが、児童が教師の言っていることに興味を持っ て耳を傾けて初めて、英語の音が意味のある言葉と して耳に残ります。音が聴き取れると、真似たくなる のです。そして、この教師による英語の語り掛けが、 言語習得に必要条件である「インプット」なのです。

耳慣れるまで飽きずに聞かせること。 それが、アウトプットを引き出す秘訣です。



小学生は外国語の音を敏感に聞き分け、大人より うまく真似ることができます。繰り返しの多い歌や絵 本など、何度も聞いているうちに自然と児童の口から 出てくることもあるのです。自然に任せるだけではそ うならないこともありますから、耳慣れるまで飽きず に聞かせる必要があります。集中力があまり続かな い児童に対しては、飽きさせないことが、外国語活動 の1つのポイントです。それには、変化を加えること で、例えば歌であれば、繰り返し登場する表現が何 回出てくるかを数えさせたり、表現に合う動作を入れ

たり、聞かせたい部分に注目するような仕掛けを作っ たりすることも必要です。絵本であれば、ただ読むだ けでなく、繰り返しの表現に慣れ親しんできたら、そ の表現が出てくるまで教師が読み進めるのを一瞬 待って児童が言うのを促す、ページをめくる前に次の ページの絵を尋ねるなどの工夫をすることができま す。これが、「アウトプット」の引き出し方です。外国 語活動では、インプットを十分に行って、頃合いを見 計らって無理のないアウトプットに移っていくような 授業づくりが求められます。

自然な言葉のやり取りを子供たちと楽しんでいますか?

小学校の授業で、活動で使う単語を絵カードにして 黒板に貼り、活動の前に "Repeat after me."と言っ て、繰り返し児童に言わせ、それから言えるかどうかの 確認として、列で言わせているのをよく見掛けます。単 語を覚えていないと、次の活動ができないからそのよ うにするのですが、このやり方はかつて自分たちが中 学校の英語の授業で感じた「覚えなければいけない」 というストレスを与えている感じはしませんか?それな ら例えば、ランチメニューの授業であれば、食べ物カー ドをただ黒板に貼るのでなく、黒板にメニュー表の枠 を2つ書いてその中にカードを貼り、一緒に読み上げて みてはいかがでしょう。メニュー表の上にレストランの

名前をそれぞれ書いて、"Which restaurant do you want to go?"と尋ね、すぐに決めることができなかっ たら、また読み上げれば、繰り返し読む意味が出てきま す。そしてさらに、児童の答えに対して"Why?"と尋ね、 "I like spaghetti." などの答えが返ってくれば、自然な やり取りが成立することになります(| like~の表現は 別の単元で既習の場合)。しかし、絵カードを一通り覚 えた後に、表現の意味を無視して覚える目的だけで言 葉を言わせ、「今度は"I like~"を付けて言ってみよう」 と表現の練習ばかりをさせていては、本来言葉が持っ ている、言葉のやり取りの楽しさを感じる機会を、児童 から奪ってしまうことになるのではないでしょうか。

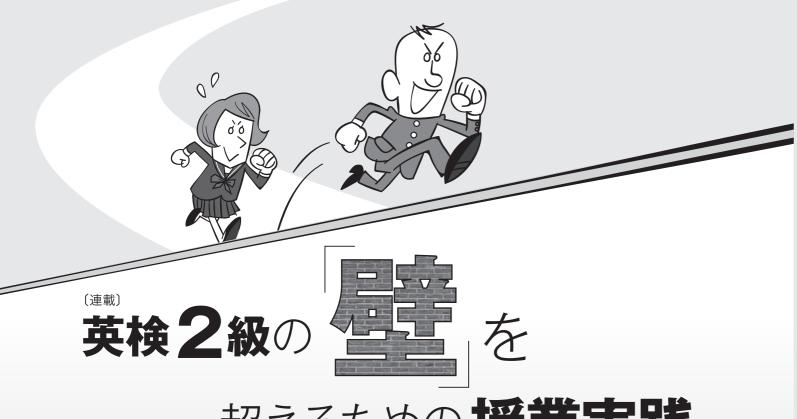
いつものやり取りにも5一言。 すると、やり取りがさらに広がります。



言葉のやり取りを通して言葉を習得するということ は、相手の言葉を理解し、的確に反応するということ です。そして、中学校で学ぶ文法知識は持ってはいな くても、使える英語力が身に付いているということに なります。例えば、実用英語技能検定(英検)5級の 2016年度第3回のリスニングテストでは、25題中15 題がやり取りの質問でした。日頃から、たくさんの言 葉のやり取りをして相手の言葉に反応することができ るようになっていて、文字が読めるようになったとした ら、英検5級へのチャレンジも夢ではありません。教

室で出てくる言葉のやり取りは限られますので、いつも のやり取りにもう一言加えてみるとよいでしょう。例え ば、"I'm sleepy." といった子供の答えに対して "What time did you go to bed yesterday?"と尋ねれば、 いつものあいさつにも変化が出ます。もし、日本語で 子供が答えたとしても "Oh, ten o'clock! That's too late." と返すことができます。ここでさらに「僕11時 だったよ」と別の子供が反応したら、それは、この言葉 のやり取りを理解しているということです。つまり、使 える英語力が身に付いているということなのです。

42 英語情報 2017 Spring 英語情報 2017 Spring | 43



超えるための授業実践

第1回:超える意志

英検2級はフルマラソンに挑戦するようなもの!?

実用英語技能検定(英検)2級は、高等学校卒業段階の英 語力の到達目標とされています。しかし、その英検2級が高校 牛にとって「壁」となってしまうことが多いようです。その理由 をまず考えてみましょう。

英検2級に合格する人の「力」とは、「英検Can-doリスト」*1 では、「日常生活での情報・説明を聞きとったり、まとまりのある 内容を理解することができる」「日常生活での出来事について 説明したり、用件を伝えたりすることができる」などと示されて います。つまり、読み書きも含めてある程度「実用的に英語が使 える」ということであり、英検2級は英語学習の最初の「応用」 の段階とも言えるでしょう。日本語で生活する多くの中・高校生 にとって、この段階に達することは容易なことではありません。

英検2級の「壁」を超えようとすることは、少し大げさな言い方 をすれば、いわば42.195キロのフルマラソンに挑むようなもの です。しかし、彼らが強い意志を持ち、長い道のりを行く覚悟を し、着実に適切な努力をすれば、英検2級は決して超えられな い「壁」ではないのです。

中・高校生が強い意志を持った自律的な学習者になるために は、学びを見守る「伴走者」が必要となります。例えば、スポーツ 選手を高いレベルへと導くためには、コーチによる継続的で効率 的な指導計画と、効果的なメンタル面のサポートが必要です。そ こで、生徒が英語でのコミュニケーション力を身に付け、英検2級 の「壁」を超えることを「仮のゴール」に定めて、「伴走者」である 教師がいかにサポートしていけばよいのかを考えてみましょう。

%1 http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/cando/pdf/can-do_2kyu.pdf

ゴールをイメージさせる

生徒に長い道のりを行く心の準備をさせるために、伴走者 に求められることは何でしょうか? 生徒は「ゴールが見えな い」「道のりがイメージできない」ことに不安を感じるものです。 そこでまず、ゴールをイメージさせることから始めましょう。英 語を学んで英語を「使える」ようになると、どのようなことがで きるのかを示すとよいと思います。例えば、生徒の前でALTと

対話して見せたり、簡単なスピーチをしてみたりしてはいかがで しょうか。生徒に「英語が使えるとかっこいいな」と感じさせる ことができたら、こっちのものです。生徒に、やがて自分が身に 付ける「力」を意識させる授業をしましょう。身近なロールモデ ルとして、上級生が身に付けたスキルを下級生に見せることも1 つの方法です。

負荷のコントロール - PainからJoyへ

フルマラソンにチャレンジするときに犯しがちなミスは、練 習時の「オーバー・ペース」です。練習量を増やすためには「長 く」「ゆっくり」走る必要があります。早すぎるペースで走って しまうと、苦しくなり、距離を稼ぐことができません。さらに は、練習そのものが「苦痛」になってしまいます。人とおしゃべ りができるくらいのゆっくりとしたペースで走ることができれ ば、練習が「楽しく」なります。楽しい練習は長続きし、結果 的に練習量を増やし、走る「スピード」と体力を向上させるこ とにつながります。このような練習方法は「LSD-Long Slow Distance」として、ランナーの間でよく知られているものです。

英語学習にも同じことが言えます。「英検2級に合格する」と いうある程度高いゴールを設定する場合は、負荷の低い活動 を「楽しんで」「長く」積み重ねていく必要があります。負荷の 高い活動ばかりにしてしまうと、生徒にとって英語を学ぶこと 自体が「苦痛」になってしまい、「練習量」を稼ぐことができず、 英語の「体力」を付けることもできません。生徒が長い時間を かけて挑むマラソンに伴走するには、このことを肝に銘じなけ ればなりません。あらゆる場面で負荷のコントロールを意識 しましょう。 英語の学習を生徒にとっての pain とせず、joyに しなくてはならないのです。

準1級、準2級との連続を意識する

ここで、私個人の経験から、生徒を英検2級にチャレンジさせ る際の注意点を2つ挙げておきます。

1つ目は、「英検準2級の問題をしっかり学ばせる」ことです。 英検2級と準2級は、級こそ独立しているものの、基本的にどち らの級でも求められる技能は同じです。当たり前のことですが、 準2級を良い結果で合格できる人は、2級にも合格しやすいの です。2級受験者が、準備段階で問題の「量」と「質(難易度)」 に戸惑うことはよくあることです。この「戸惑い」を最小限にす るために、準2級の問題を繰り返して学ばせることをお勧めしま す。いきなり2級の問題に取り組むと、負荷が強くなりすぎて量 が稼げなくなる可能性があるからです。これは、他の級にも言え ることで、準2級の合格へと導くためには、3級レベルの問題を 何度もやらせて量を稼ぐ必要があります。また、2016年度から 導入された英検のCSEスコアも良い指標になるでしょう。

2つ目は、「英検準1級合格を目標にさせること」です。私が勤

める学校では、英検1級合格者が出た後に準1級合格者の数 が大幅に増えました。「英検準1級」合格ではなく、「英検1級」 合格を目指す生徒が増えたことで、結果的に準1級合格者が増 えたのです。同じことが2級にも起こり、2016年度は国際文化 科3年生78名全員が2級以上(1級1名、準1級13名)に合格 しました。私が住む北海道の高校野球のチームにも、甲子園出 場ではなく、全国一を目指した結果、見事に甲子園出場を実現 したチームがありました。

何より大切なのは、「伴走」する教師が、生徒に2級の壁を超 えさせる意志を固めることなのです。

Where there's a will, there's a way. (意志あるところに道は通ず)

次回からは、具体的にその「道」について考えていきたいと 思います。

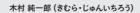
「壁」を超える言葉

No bird soars too high if he soars with his own wings.

(自らの羽で飛ぶ鳥に、高く飛び過ぎるということはない)

イギリスの詩人ウィリアム・ブレイクの言葉です。チャレンジを恐れてはいけません。 限界はチャレンジの結果としてやって来るもので、チャレンジする前に限界を設定し てはいけないのです。

- William Blake



北海道札幌国際情報高等学校教諭。北海道足寄町出身。東洋大学文学部英米文学科卒業。1992年~93年 にかけ文部省海外教育施設日本語教員派遣事業 (REXプログラム 第3期)に参加。カナダ・アルバータ州カルガ リーのWilliam Aberhart High School に勤務。2002 年度より北海道札幌国際情報高等学校に勤務。全国高校 英語ディベート連盟 (HEnDA) 北海道ブロック代表。北海道高等学校文化連盟国際交流専門部専門委員長。



小・中学生の英語学習意欲の向上を目指し 明海大学と足立区が連携協力協定を締結

2017年1月、明海大学と足立区の「連携協力に関する基 本協定締結式」が、千葉県浦安市の明海大学浦安キャンパ スで行われた。2020年の東京オリンピック・パラリンピッ クや、新学習指導要領における小学校英語の教科化への 対応を見据え、「足立区の児童・生徒の英語基礎力の定着 と向上、グローバル人材の育成に向けた区の英語・外国語 活動の施策・事業の充実」を図り、明海大学の教育資源を 生かした取り組みを展開していく。



(左) 明海大学・安井 利一 学長/(右) 足立区・近藤 やよい 区長

大学の「知識材」と「人材」を 地域に還元

このたびの明海大学と足立区の協定 締結にあたっては、次のような背景が あった。

明海大学は1970年の創立以来、「国 際未来社会で活躍できる人材の育成」 を教育の目標に掲げてきた。そして、 「『知識材』から『人材』まで、大学の持 つ教育資源を学内だけでなく学外に発 信し、次代を担う子供たちに還元して いくことが重要」と安井利一学長が語 るように、地域社会との連携の方策を 模索していた。

一方で足立区は、2007年に教育政 策を重視する近藤やよい区長が就任し て以来、小学校の学力テスト(5科目) の成績は順調に推移するものの、中学 校では英語力の伸び悩みに直面。小 学校高学年で楽しく外国語活動をして きた子供たちが、中学校で文法指導が 始まった途端につまずき、中学1年生の 段階で苦手意識を持ち、英語が嫌いに なってしまうという悪循環が見受けられ たという。そこで、近藤区長を中心に打 開策を案じていたところ、明海大学との 連携協力の話が持ち上がった。「ですか

ら、この連携協力協定締結は、議会や 区民からも大きな期待が寄せられてい ます」と近藤区長は語る。

そうして、両者のニーズが合致し、連 携協力の基本協定締結に至ったのだ。

期待されるのは

多彩なプログラム展開

2017年1月に連携協力協定が締結 され、英語および外国語活動の支援に 関する施策について、まさに具体案が検 討されているなかで、2月にはキックオ フイベントとして、足立区の子供たちと 明海大学に在籍する外国人留学生との 交流事業を実施。具体的なプログラム がスタートを切った。

今後の予定事業は、「児童生徒の英 語基礎力の向上」「小・中学校教員の 授業力の向上」を柱に、英語力強化重 点校の授業・補習支援、教員研修への 協力がメインとなり、将来的には英語以 外の語学に関する連携も検討されてい る。明海大学の教育資源の活用例とし て、日本語教育・国語教育での支援、日 本語を母語としない子供たちへの教育 支援、「言葉から文化を学ぶ」ためのプ ログラム、さらには、経済学部、不動産

学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部 の特色を活かし、実社会で必要な実践 力の向上を目指す学習支援も想定され ている。そして、協定に基づいてさまざ まな活動を具現化することで、明海大 学の学生への好影響が生まれる可能性 にも安井学長は期待する。

近藤区長は、「教室で学んだ英語を、 大学生や外国人留学生などとの交流を **通して実際に使ってみることで、学ぶ意** 欲がふくらむのではないか」と期待を寄 せる。さらには、明海大学の学生との活 発な交流によって、子供たちの身近に 大学生が当たり前のようにいる環境を 整えることで、「自分も大学で学びたい」 という意識を醸成し、将来の夢や希望 をもって学習に取り組む流れを生んで いくことを望んでいる。

現在優先させるのは「学習意欲の向 上」だ。区民・保護者からは「英検何級 以上」というような、学習効果の目安の 必要性を訴える声もあるというが、まず は、「英語が楽しい」「英語を学びたい」 「英語を使って、将来何をしたい」という 学びへの意欲を掻き立てるために、さま ざまなプログラムの効果について、アン ケートなどを通して調査・分析していく。

特別記事

全国英語教育研究団体連合会(全 英連)が毎年開催している「全国高 等学校英語スピーチコンテスト」で は、上位入賞者に副賞として、海外夏 季短期留学への参加資格が贈られ る。2016年1月の「第9回全国高等 学校英語スピーチコンテスト」で第1 部第4位の中村真央さん(神奈川県 立神奈川総合高等学校2年: 当時) と、第2部第2位の高木サブリナさん (仁愛女子高等学校3年: 当時)によ る「海外研修報告」を紹介する。

第1部 第4位 全英連会長賞

関東甲信越ブロック代表 中村 真央さん

(神奈川県立神奈川総合高等学校2年: 当時)

ホストマザーや友達、先生に支えられた2週間

私は、オーストラリアクイーンズランド州のブリスベンにあるミッチェルトンハイスクールへ 2週間の短期留学をしました。滞在中はホームステイを経験しました。ホストマザーと二人 だけの生活で、毎日帰宅すると、オーストラリアの英語に慣れるために、一緒にニュースを見 ていました。夕食を食べながら、今、日本で起きていること、オーストラリアや世界の情勢に ついて話し合うことが多く、勉強になりました。週末には、ブリスベンの街を一望できるマウ ント・クーサに行ったり、ハイキングにマウント・グロリアスに行ったりと、自然を楽しむことが できました。

学校では、現地の生徒と同じように授業を受け、最初は慣れるのに時間がかかりましたが、 友達ができ始めると、楽しく授業を受けられるようになりました。海外からの留学生も多く、多 様性に富んだ学校でした。留学生をサポートする先生方には、放課後に動物園に連れて行っ ていただき、コアラを抱っこしたり、カンガルーに餌をあげたりするなど、オーストラリアらしい 体験もできました。

オーストラリアと日本の文化の違いや、高校の違いなど身をもって体験することができて とてもよかったです。本当にあっと言う間の2週間でした。今回の短期留学に関わってくだ さった全ての人への感謝を忘れずに、今回の経験を将来の糧にしていきたいです。

(『全英連会誌 第54号』より編集)

第2部第2位 読売新聞計賞

東海北陸ブロック代表 高木 サブリナさん

(仁愛女子高等学校3年:当時)

自分の英語学習の姿勢を見直す機会になった カナダへの短期留学

私は、カナダのバンクーバーにあるCCEL (Canadian College of English Language) という語学学校で2週間の短期留学をさせていただきました。留学先の学校では、さまざ まな国の、幅広い年齢の留学生と同じ教室で授業を受けました。そこで私が学んだこと は、自分の意見を持つことの大切さです。他の国から来た学生たちは、自分の意見をしっ かり持ち、授業中に先生から質問をされても積極的に発言をし、授業は活気に満ちあふれ ていました。私も彼らに負けないくらいの発言をしようと思いましたが、そのためにはまず、 英語力を高めなければならないと強く思いました。

今回の短期留学で、実際に海外の学生の英語学習に対する姿勢を目の当たりにして、 自分自身の英語力を高めるための姿勢を見直すきっかけにもなりました。留学から帰って きた現在は、以前よりも英語学習に励み、英語力も徐々に上がってきています。周りの人 たちと積極的に自分の意見を共有し合うという異文化に触れたことは、私にとって大きな

刺激となり、積極的に行動することの大切さを痛感し ました。わずか2週間という短い期間ではありました が、とても有意義な時間を過ごすことができました。 スピーチコンテストに挑戦し、このような貴重な機会 をいただけたことを感謝しています。





全英連・栃倉 和則 新会長に聞く

世界平和の鍵を握る英語科の先生方と 日本の英語教育向上を目指す

「全国英語教育研究団体連合会(全英連)」は、各都道府県や地域ブロックに存在する中学校・高等学校の 英語教育研究会を統括する連合体だ。全国の中学校・高等学校の英語科教員およそ6万人が加入している。 2020年度から全面実施が予定されている次期学習指導要領を見据えて、全英連は今、新たな英語教育の方向性を示そうとしている。 2017年4月に就任した栃倉和則会長(東京都立田柄高等学校校長)に、全英連の事業と11月の全英連新潟大会への期待を伺った。

英語科教員のための組織として

全国の英語科教員のための研究会と して、1950年に発足した全英連。各都 道府県や全国9つの地域ブロック(北 海道、東北、関東甲信越、東京、東海北 陸、近畿、中国、四国、九州) に存在する 中学校、高等学校の英語教育研究会を 統括する連合体であり、英語科教員は 国公私立を問わず、各地域の中英研や 高英研に加入すると同時に、全英連に 加入することになる。その運営は、発足 以来、教員たちの「全ては生徒のため に」という思いで活動するボランティア 精神によって支えられ、全国89の英語 教育団体からの会費と、年1回開催され る全英連大会の参加費によって成り立 つ。本部組織は東京に置かれ、東京都 の高英研・中英研の教員が事務局をは じめ、高校部会・中学部会に所属して活 動している。

近年では、学習指導要領において、高 等学校では「授業を英語で行うことを 基本とする」とされたことから、生徒主 体の言語活動中心の授業へと改善する 取り組みが求められるほか、次期学習指 導要領を見据えて、中学校でも「授業を 英語で行う」ことや「言語活動の充実」 が課題とされる。そして、小学校中学年 での外国語活動や高学年での外国語 教科化に向けて、全英連大会でも小学 校の授業実演が行われ、多数の小学 校の先生方が参加して研修を重ねてい る。さらに、小・中・高の連携をはじめ、 他教科との連携により、英語科教員が 中心となって、学校全体で「言語活動の 充実、高度化」に向けて取り組むことも 求められるようになった。

昨年度まで全英連副会長を務め、2017 年4月に就任した栃倉会長は「2020年 度からの次期学習指導要領に向けて、課 題はまだ山積みです。全英連としては、年 2回の理事会を開催し、教員の授業改善 や指導力向上、児童生徒の英語力向上 について、各ブロックで実施している事業 の報告や課題の検討を行っています。私 たち教員には、変化の激しい時代におい て、未来を担う若い世代を育てる責務が あります。なかでも、社会が求めるグロー バル人材の育成という側面からいえば、 英語科教員が担う役割は大きいもので す。磯部篤前会長をはじめ、歴代会長が 築いてこられた方針を受け継ぎながら、 各ブロックとの連携を深めていきたいと 考えます」と思いを述べた。

生徒の英語力向上のために

全英連の活動は、生徒を対象とする事 業と教員を対象とする事業に分かれる。

生徒を対象とする事業は、「全国高等 学校生徒英作文コンテスト」と「全国高 等学校英語スピーチコンテスト」がある。

「全国高等学校生徒英作文コンテス ト」は、高校生の英語力向上をはかり、英 語による発表能力を高めるために実施し ている。日本国内の国公私立高等学校 および高等専門学校などの学校に在学 する生徒が対象だ。55回目となった昨 年度は1年生の部「What Makes Me



英作文コンテストと全国高等学校英語スピーチコンテストは

Confident」、2、3年生の部「Age 18: The First Step of Our Adulthood の題に基づいて、1年生251~500語、 2、3年生301~600語の制限語数内 で、オリジナルの英作文を募集した。 毎年、全英連のホームページなどで募 集しており、昨年度は全国215校から 1,711作品が寄せられた。そして、応 募作品のなかから各部約120編が入 選とされ、さらに入選作品から各16編 が選ばれ、入賞となる。入賞者は最優 秀賞各1名、優秀賞各5名、優良賞各 10名とし、毎年3月発行の『全英連大 会紀要』などにおいて発表されるほか、 『英作文優秀作品集』にも掲載される。

「全国高等学校英語スピーチコンテ スト」は、高校生の英語による表現力を 伸ばし、英語学習に対する関心を高め るとともに、国際的視野を持つ人材を 育成することを目的として開催されてい る。全国の9つのブロック大会で代表 に選ばれた生徒各2名が出場する全国 大会だ。昨年度から参加資格は海外生 活の有無などによる2部制となった。論 題は自由で、未発表のオリジナル原稿に

よる prepared speech とする。 制限時 間4分30秒~5分30秒とし、内容50 点、英語30点、態度20点の計100点 満点で審査をする。今年2月に開催さ れた第10回大会では、第1部で北海道 ブロック代表の牧野かのんさん(旭川 藤女子高等学校2年)が第1位文部科 学大臣賞・文部科学大臣杯に、第2部 で東海北陸ブロック代表の一居成さん (静岡県立静岡高等学校1年)が第1位 外部大臣賞・外務大臣杯に輝いた。

また、生徒の英語力向上のための出 版事業も行っている。音声CD付きの 『Listening Essentials』は、センター 試験のリスニングテスト対応の基礎的 なレベル (英検3級程度) から私立難 関大学のリスニングテスト対応のレベル (英検2級以上程度)まで、5段階の内 容を用意している。さらに、4技能をバラ ンス良く身に付けた発信力の育成を意 識した単語集 『全英連・英単語 NEXT 3600』(東進ブックス)を発行したほ か、全英連ホームページ上では、「英語 学習者のためのレベル別語彙テスト」を 無料で実施しており、生徒の語彙力を測 ることができる。

全国大会に参加し 新たな出会いと発見を

教員を対象とする事業には、年1回 開催している「全国英語教育研究大会 (全国大会)」がある。メインイベントとも 言える「全国大会」は、各ブロック持ち 回りで毎年11月に開催しており、発足当 初から続く、長い歴史を持つ大会だ。各 ブロックが持ち回りで開催し、2017年 度は11月22日・23日に新潟大会が予 定されている。毎回、開催地の特色が 反映され、時代を象徴するテーマのもと で最新の英語教育に触れる記念講演を はじめ、小・中・高等学校の教員による 授業実演、分科会での研究発表を行う。

新潟大会のテーマは「新潟から世界 へ! 新潟から未来へ!~交流・喜び・成 長あふれる英語教育の推進~」だ。開 催にあたり、栃倉会長もすでに現地を訪 ね、授業実演者の授業を視察するなどし てきた。新潟大会事務局も開催まで残り

半年間となった今、準備に余念がない。

「授業改善を進めるためには、自分の 指導法や教材に満足せず、いろいろな 先生と情報交換の機会を持つことも大 切です。全国大会の授業実演や分科会 からは、明日からの授業づくりのヒント が得られ、新たな発見があることでしょ う。自分の授業を見つめ直し、授業づく りに対する考えを再認識できると思い ます」と話す栃倉会長。「全国から集ま る先生との交流が深まり、新たなネット ワークを築くこともできます。未知の世 界へぜひ、飛び込んで行ってほしいもの です」と、大会への参加を呼び掛ける。

さらに毎年7月末に公益財団法人日 本英語検定協会(英検協会)と「夏季 教員研修会」を共催している。「夏季教 員研修会」は、全国9ブロックから、中 学校と高等学校の教員各1名が参加す る。地域の英語教育リーダー育成、全 国大会開催時における中心的人材の育 成を目的としている。毎回、文部科学省 関係者や大学教授、中学校・高等学校 で先進的な取り組みをしている教員な どを講師に招き、中学校・高等学校別に グループワークを取り入れ、指導案の作 成と発表を行う。

コミュニケーション能力を育み 人を思い合う心を育てる

英語教育改革や高大接続改革など、 英語科教員たちは今、大きな変革の波 を目の前にしている。グローバル人材の 育成といった社会からの要請にいかに 応えていくのかといった課題もある。

栃倉会長は「グローバル人材とは、単 に高い英語力があればよいのではあり ません。主体性・積極性を持って前に 進もうとする力、人と和していく力が求 められます。子供たちの65%が将来、 今は存在しない職業に就くと言われて います。だからこそ、社会の変化に対応 しながら、自ら考えて行動できる人間に 育っていってほしいと思います。今、英 語教育において求められているコミュ ニケーション能力とは、自分を伝え、相 手を受け入れて、お互いに理解し合う力 であると言えます。つまり、人を思い合 う心であり、それこそが世界平和へと通 じるものだと信じています。そのような 心を持った子供たちを育てるためにも、 ぜひ授業のなかで、多様な物の見方・ 考え方を育んでいただきたいと思いま す」と語った。





第二言語習得論に基づく授業を実践

今回のセミナーは、宮崎県立日南振 徳高等学校の富髙雅代先生による実 践発表から始まった。富髙先生は、同校 で使用しているCAN-DOリストや生徒 に配布している CAN-DO Statement、 学習カレンダー、ワークシートを例示し、 授業や国際交流の取り組み、育てたい 生徒像などを紹介した。カナダの大学 でESLの語学講師として、約35カ国の 学生に第二言語としての英語を指導し てきた富髙先生は、2016年夏に英検 協会主催の「教員海外研修」にも参加 し、研修での学びや海外での指導経験 を活かして、4技能習得を目的とした授 業を行っている (『英語情報 2017年 冬号』P.15参照)。

英語教育改革と高大接続改革の現状

文部科学省初等中等教育局外国語 教育推進室の圓入由美室長は、「次期 学習指導要領を見据えた外国語教育 と高大接続について」を講演。外国語 教育において、特に発信力に課題があ ることが国の調査で明らかになったと し、小・中・高の接続が十分とはいえな い現状などを報告した。また、次期学 習指導要領では、小・中・高等学校を 通じた国の指標形式の目標を示し、「聞 くこと」「読むこと」「話すこと(やり取 り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の 5つの領域で目標を示す予定だと紹 介した。そして、「先生方には、児童生 徒が学んだことが生涯にわたってつな がっていくことを意識して指導していた だきたい」と結んだ (P.04参照)。

外国語を学ぶことで広がる世界とは?

続いてプログラムは、立教大学グロー バル教育センター長の松本茂教授が聞 き手となり、ボーカリスト、バイオリニス ト、作詞作曲家として多方面で活躍して いるサラ・オレインさんのトークショー に移った。二人は「外国語を学ぶこと で広がる世界」をテーマに英語で対談。 NHKのEテレで放映中の『おとなの基 礎英語』で共演しているとあって、終始、 息の合ったトークを繰り広げていた。 オーストラリア出身のサラさんは、英語、 日本語、イタリア語、ラテン語を話すマ ルチリンガルだ。母親が日本人で、日本 の文化にはアニメーションなどを通じて 触れていたが、家庭での会話は英語の み。日本語を学んだのは、シドニー大学 入学後だったという。「言語を学ぶとい うことは、相手の文化も学ぶこと。私は 日本文化に触れ、日本文学に魅了され て東京大学に留学し、日本語の学習に

も力を入れました」と話すサラさん。最 近では音楽家として活動する一方で、マ ルチリンガルの才能を生かして絵本の 翻訳も手掛け、創作絵本の英語版は、 社会貢献活動の一環として、世界の子 供たちに配布されている。



大学入試改革と日本の英語教育の将来

上智大学言語教育研究センター長の 吉田研作特別招聘教授は、「University Entrance Exams and the Future of Japan's English Education」を演題 に基調講演を行った。冒頭で吉田特別 招聘教授は、日本の中・高生の英語学 習に関する実態調査結果から、「英語が 使えることは仕事に役立つ」と感じなが らも、「仕事で英語を使いたい」「留学を したい」と考えている生徒が少ないこと を指摘。また、中学校教員の英語力につ いて、「英検準1級以上等を取得してい る教員の割合」が、国の目標である75% にほど遠い現状を示し、その取得率が都 道府県によって格差があると紹介した。 また、英語教育改革において、「アクティ ブ・ラーニングの3つの視点(知識・技 能/思考力・判断力・表現力/学びに向 かう力・人間性) からの学習過程の質的 改善」が求められていることを説き、生 徒にどのような英語力を身に付けさせ たいのかと問い掛けた。さらに、大学入 試改革にも話題は及び、2020年度から 実施予定の「大学入学希望者学力評価 テスト(仮称)」の英語4技能評価の実 施形態について、外部の資格・検定試験 (4技能)を活用する案と、外部の資格・ 検定試験(4技能または2技能)を活用

しながら、リーディングとリスニングの2

技能は新テストを実施する案を示した。

英語教育に携わる専門家の熱い議論

最後のプログラムは、パネルディスカッ ションとなった。テーマは「グローバル人 材を育成する新しい英語の授業」だ。吉 田特別招聘教授をはじめ、上智大学の和 泉伸一教授、一般財団法人実用英語推 進機構・代表理事の安河内哲也先生、北 海道札幌国際情報高等学校の木村純一 郎先生をパネリストに迎えた。パネリスト たちは、大学や高等学校、予備校などで 自身が実践している授業や、専門として いる分野の研究を通して臨んでいる、英 語教育改革について紹介し合った。コー ディネーターを務める立教大学グローバ ル教育センター長の松本茂教授のユー モアに富んだ進行により、時にパネリスト たちの本音が飛び出し、会場の笑いを誘 いながら、90分間にわたる熱いやり取り が続き、セミナーは終了した。

日本の英語教育の 現状と今後を考える

英語教育セミナー

「大学入試改革を踏まえた新しい英語の方向性」をテーマに、2016年12月に公益財団法人 日本 英語検定協会 (英検協会)による「英語教育セミナー in 東京 2016」が、上智大学で開催された。 授業改善に役立つ実践事例の紹介や、文部科学省が進めている英語教育改革や大学入試改革の 現状、グローバル人材を育成するための英語の授業のあり方などが発表され、全国から参加した英 語教育関係者たちは、講演やパネルディスカッションに熱心に耳を傾けていた。



パネルディスカッションより



王教大学 グローバル教育センター長 松本 茂 教授

「小・中・高等学校の英語の授業が変わって も、大学の授業は昔のままだとの声もあります。 しかし、実際にはディスカッションやディベー ト、プレゼンテーションなども取り入れ、専門 科目を英語で教えるなど、だいぶ変わってきて います。高大接続の観点からも、今、大学では 授業を公開していますので、高等学校の先生 方には、ぜひ母校の大学を訪れ、授業を見学 していただきたいと思います」



「私も教員研修の講師をする機会があります が、教員研修は、コミュニケーション活動の大 切さを理解し、教員同士の交流を深めるよう な場であってほしいと思います。今後の研修 には、タスクベース、コンテンツベースの課題 解決型の授業を体験できる内容も必要です。 先生方には研修を通じてご自身でまず体験し ていただき、授業改善に取り組む勇気を持っ ていただきたいと願っています」



·般財団法人実用英語推進機構 代表理事 安河内 哲也 先生

「私自身も今、生徒主体の活動型の授業を実 践しています。実際に授業をしてみると、生徒 は『英語を話したい』と思っていることが分か ります。大学入試のために文法知識を教える のではなく、使える英語のための文法を教え るようにしましょう。そのためには教科書の英 語は、自然な会話文であってほしいものです。 英語嫌いの生徒を増やさないためにも、子供 たちが自ら気付いて学ぶ指導が必要です」



in 東京 2016 を開催

上智大学 言語教育研究センター長 吉田 研作 特別招聘教授

「大学入試は、高等学校の学習指導要領に 沿った評価でなければ、今後は受け入れら れなくなるでしょう。4技能型の外部試験入 試を受験する生徒の数が増えていることから も、生徒がいかに4技能での評価を望んでい るかが分かります。大学も高等学校もそれぞ れ、生徒のそうした声に耳を貸して、授業を改 善していってほしいと思います。変化を恐れず、 まずは始めてみることが大切です」



北海道札幌国際情報高等学校 教諭

「英語力とはミクロな要素で捉えるものではあ りません。日本人でも日本語を間違えるので すから、完璧な英語など求める必要はありま せん。まずは生徒に、間違いを恐れずに英語 を使わせてみることから始めましょう。英語教 育を取り巻く状況の変化を肌で感じながらも、 一歩を踏み出せない先生方もいらっしゃると 思います。勇気を出して授業を変えれば、生徒 たちも変わっていくものです」

2016年度 英検協会 英語教員海外研修

帰国後の取り組み報告

「英語教員の英語力や指導力、資質向上」を目的として、公益財団法人 日本英語検定協会 (英検協会) は毎年夏期に教員海外研修を実施している。2016年度からは公募選考制となり、小・中・高等学校と もにオーストラリアのニューサウスウェールズ大学 (UNSW)への派遣となった。36名の参加者たちは、 研修にあたりどのような課題を持ち、16日間にわたる研修で何を学び、その成果を現在どのように生か しているのだろうか。研修の意義や内容と、参加者から寄せられた帰国後の実践報告を連載する。







英語教授法を学び、 異文化理解を深める

2003年度に開始し、2016年度で14 回目を迎えた教員海外研修。2016年 度からは小・中・高等学校ともにオース トラリアのUNSWでの研修となった。 UNSWは、教員向けの育成カリキュラ ムや第二言語習得の教授法に定評が

ある。2016年7月30日から8月14日 までの16日間、小・中・高等学校から各 12名、計36名が参加した。実施にあた り、英検協会はオーストラリア大使館と UNSWと議論を重ねながらカリキュラム を編成した。カリキュラムは全て学習指 導要領に沿っており、校種別プログラム と小・中・高等学校合同プログラムで学 ぶ。滞在中は一人1家庭にホームステイ をし、異文化交流・理解も深める。

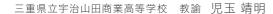
授業は全て英語で行われる。現地の 小・中・高等学校を訪問し、授業を見学 する機会も用意された。最終日には、グ

高等学校

ループごとに模擬授業を発表するため、 参加者たちは、研修で学んだ知識や技 術を踏まえて、グループごとに集大成と なる授業案をまとめ上げていった。

16日間の研修を終え、参加者たちは プログラムを最後まで成し遂げたことへ の自信に満ち、苦楽を共にした仲間との 絆も深まった。研修に参加する以前に 抱えていた課題を解決する糸口をつか み、さらなる研鑚を積んでいこうと意欲 を高めている。本連載では1年間にわた り、参加者たちが帰国後に取り組んでい る活動や成果を報告していく。

生徒が主体的に取り組む授業を目指して



研修で学んだこと

研修では、英語教育全般について幅広く学ぶことができましたが、なかでも最も印象に残っており、帰国後の授業で 特に意識して取り組んでいることは、Eliciting (生徒から答えや考えを上手く引き出す手法)とCLT (Communicative Language Teaching)の基本であるStudent-Centeredな授業展開です。

研修後の取り組み

①情報交換が活発化するような発問の工夫

研修前…生徒に深く考えさせ、感じたことや考えたことを引き出す質問ができていなかった。

研修後…授業中に必ず1回は教科書に答えのない、生徒自ら感じたことや考えたことを問う質問をし、ペアワーク やグループワークを通じて意見交換を取り入れた。

生徒は初めは少し戸惑いながらも、すぐに楽しそうに意見交換をする姿が見られるようになった。一人一人が異なる意見を持っている ため、information gap が生まれ、情報交換が活発化する。

②生徒がペアワークやグループワークに主体的に取り組む工夫

研修前…生徒がペアワークやグループワークに主体的に取り組んでいなかった。

研修後…授業中の姿勢を生徒自身が振り返り(反省)できるようにSelf-Reflection Sheet 作成し、授業の最後 に書かせるようにした。

主体的に意見を述べたか、仲間と協働的に取り組むことができたか、といったことを生徒自らが授業態度を振り返るようにしたところ、 これまで以上にペアワークやグループワークが活発化し、積極的に意見を言う生徒が増加した。 .-----

今後の抱負

生徒が主体的に、仲間と協働的に学ぶ授業を通して、Active Reading や Critical Thinking といったスキルを身に付 け、コミュニケーション能力が高まるStudent-Centeredな授業を目指し、研修で学んだことを今後も意識し発展さ せて、さらなる授業改善に努めていきたいと思っています。



のび太くんから出来杉くんまで、実りある授業を

神奈川県 横浜市立日吉台西中学校 教諭 内山 亜矢子

.....



教室の中では、幼いころから英会話教室に通っている生徒と、半年経ってもbとdを間違えてしまうような生徒が一緒 に学んでいます。ともすれば英語が得意な生徒は「それはもう知っている」という顔をし、苦手な生徒は息を殺して身を ひそめがちです。これまで、それは仕方のないことだと見過ごしたこともありましたが、研修では発音の学習を継続的 に行う意義を学び、早速実践しています。

研修後の取り組み

①発音を教えることで自信をもたせる

毎週1回のALTとの授業で、英語が苦手な生徒でも楽しみながら参加できる子音の学習を取り入れた。 例えばspであれば、sが息の摩擦音でpが破裂音であり、決してカタカナの「スパ」や「スプ」と発音するのではないことを強調する。 ALTがspを使った英文をナチュラルスピードで読み上げ、生徒はspの音が聞こえたら挙手する。その後、ボランティアの生徒に英文

を読ませる。英語の苦手な生徒でも喜んで参加し、得意な生徒も初見の文章なので発音に気を付けながら読んでいる。

②グループ活動で助け合う

グループで Error Correction に取り組む授業を実践した。

期末テストやそれまでの活動で、実際に誰かが間違えた文章を中心に作成したワークシートを用いて、3~4人一組のグループで活動 する。ワークシートに書かれた英文を正しい文に直し、なぜそのような間違いになったのかを考えさせる。この活動では英語が得意な 生徒が張り切って活動し、ゲーム感覚で間違い探しをする一方、苦手な生徒も、友達が一生懸命教えてくれるため、自分でもがんばっ て覚えようとしていた。

今後の抱負

英語によるコミュニケーション能力の基礎を育成するため、横浜市内の全ての中学校ではSEPRO(Super English Program)を実施しています。本校では、Show and Tellの活動を計画しており、区内から複数のAETに来校してもら う予定です。生徒が自信をもって発表できること、AETの話を聞いて質問ができること、AETからの質問に自分の気持 ちや意見を交えて答えることができることをゴールに見据えて、生徒たちを育てていきたいと思います。

小学校

Hello, Goodbye

愛知県 尾張旭市立本地原小学校 教諭 鈴木 由季子



研修で学んだこと

研修で、たくさんのことを学んだなかで、「英語はリズムが大切」「児童たちは大人より耳が良い」ということに注目し、 「Using Songs and Chants」の講義で学んだ、The Beatlesの"Hello, Goodbye"の歌を授業で取り入れました。

研修後の取り組み

雰囲気づくりの1つとして、6年生の外国語活動の授業の導入で、毎週 "Hello, Goodbye"を歌わせた。

- (1) 歌詞を見せずに、歌詞の中のキーワード (Hello, Goodbye, Yes, No) を提示し、グループごとにキーワード
- (2) 曲を聴かせ、記憶したキーワードが聞こえたら立たせる。聞こえないときは座らせたままにさせる。
- (3) 自分以外のグループが何の言葉を聞いて立ったのかを確認させながら、もう一度曲を聴かせる。
- (4) 歌詞の意味とビートルズについて、ALTと担任が写真を使って説明する。

児童たちは、キーワードを聞き取るために曲に聞き入り、3回も聞けば鼻歌で歌い始める子が出てきたり、ジェスチャー を付けて歌い出したりする子も現れるようになった。The Beatles の他の曲に興味を示すようにもなり、テレビの コマーシャルでThe Beatlesの曲を聴くと、翌日に「The Beatlesの曲、テレビで聞いたよ」「お父さんと"Hello. Goodbye"歌ったよ」と報告する姿も見られるようになった。

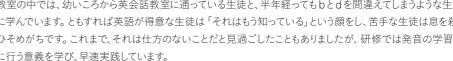
京都への修学旅行では、外国人観光客に出会うと「Hello!」と声を掛ける子がおり、それが他の子へも広まり、いつの 間にかみんなで "Hello, Goodbye" を歌い始める場面もあった。 歌を通して、学んだ英語を自信を持って使ってみよう とするなど、自然と英語に親しんでいる様子が見られた。

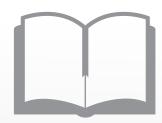
今後の抱負

今後も季節や児童たちの興味に応じて歌を選び、英語の授業に積極的に取り入れていきたいと思います。ALTと相談 しながら、児童たちに馴染みがあり、興味がわく英語の歌を選び、歌を通じて、英語圏の文化についても理解を促して いきたいと思います。

52 | 英語情報 2017 Spring 英語情報 2017 Spring | 53







わたしのオススメ本

英語教育に携わる皆さんにオススメの書籍をご紹介します。 今回は、CLASS REPORTで取材に訪れた学校の先生方から、 明日からの授業づくりに役立つCDや書籍をご推薦いただきました。

『歌っておぼえるらくらくイングリッシュ① ~アルファベット・数字・将来の夢~』

成美堂·教育研究開発室 定価(本体3.800円+税) 2008年10月刊行





徳島県 鳴門市林崎小学校 坂田 美佳 先生

本校では、外国語活動および外国語科の授業の導入で歌を活用し ています。低・中学年ではリズムに合わせて体を動かし、繰り返しを 楽しみながら表現に慣れ親しむことができる曲を多く取り入れてい ますが、高学年になるにつれ、体で表現したりリズムに乗って歌った りすることを気恥ずかしく感じる子も増えてきます。そのような子供 たちが「聴きたい」「歌いたい」と思うような曲がこのCDには数多 く収録されているため、発達段階に合わせて、単元の使用表現に合 わせて選曲することができます。今号P.12にて掲載の単元「夢を 語り合おう」では"Someday"を選曲し、歌詞に合った画像や思い 出の写真を使ってスライドショーを作成しました。美しいメロディー に合わせて、夢を叶えた自分や友達の姿に思いを馳せながら歌っ たこの曲は、子供たちや私にとって大切な一曲になりました。

『アウトプット重視の英語教育』

教育出版 定価2,400円(本体+税) 2008年12月刊行





広島県 東広島市立松賀中学校 中村 麻奈美 先生

本校では、2014年度より文部科学省「英語教育強化地域拠点事 業」の指定を受け、次期学習指導要領を見据えた英語教育の在り 方について実践研究を行っています。本書は、私たちが授業改善に 取り組むなかで出会った書籍の1つです。この本には、現在の英語 教育の課題を踏まえ、授業で生徒たちから発されるアウトプットの 量を増やし、その質を高めるための活動例と指導の実際が紹介さ れています。例えば、自己表現につながる音読指導や構造マップの 活用、即興で行うチャッティングやミニディベートなど、言語活動で 活用できるさまざまな活動が紹介されています。また、授業のなか で段階的にアウトプットのレベルアップができるよう「型」から指導 を行い、徐々にその「型」を活用して自由に会話ができるような指導 の実践が示されています。さまざまな観点から、コミュニケーション を重視した授業づくりに役立つ一冊です。

-でご紹介した書籍を読者の皆様ヘプレゼントいたします。

ご希望の書籍の番号と下記の必要事項をご記入のうえ、P.55のFAX申込用紙またはEメールにて、『英語情報』編集部までご応募ください。

- ① 氏名 ② 所属 (勤務校名)・役職 ③ 連絡先 (住所、電話番号、メールアドレス) ④ ご希望の書籍番号
- ⑤ 今号で興味深かった記事とその理由 ⑥今後、本誌で取り上げてほしい内容や意見

抽選で各1名様にご希望の書籍を差し上げます。皆様からのご応募をお待ちしております。

(金) 2017年6月30日(金)





03-5439-6879



eigojoho@morecolor.com

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。応募時に記載していただいた個人情報は、本件以外の目的には使用いたしません。

わたしのオススメ本プレゼント FAX申込用紙

英検 英語情報編集部宛



6 03-5439-6879

P.54でご紹介した書籍のうち、ご希望の書籍の番号に○をして、下記の必要事項をご記入のうえ、 FAXにて、『英語情報』編集部までご応募ください。

ご希望の書籍のいずれかに○印をご記入ください。

『歌っておぼえるらくらくイングリッシュ① 1 ペアルファベット・数字・将来の夢~』

2 『アウトプット重視の英語教育』

| | (氏) フリガナ | (名) フリガナ | |
|-----|---|----------|----|
| 氏名 | | | |
| | | | |
| | | | 様 |
| | 勤務校名 | | 役職 |
| 所属 | | | |
| 馮 | | | |
| | | | |
| | 住所 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ | | |
| 油 | 都 道 | | |
| 連絡先 | 府 県 | | |
| 76 | 電話番号 | | |
| | -east 7 | | |
| | | | |

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。応募時に記載していただいた個人情報は、本件以外の目的には使用いたしません。

- 1. 『英語情報 春号』で興味深かった記事は何ですか? 該当するものの番号に〇をつけてください。(複数回答可)
- 1. NEWS & TOPICS
- 2. 特集「新学習指導要領で何が変わるのか」
- 3. 特集事例 CLASS REPORT
- 4. Information「英検4技能化への対応」
- 5. 英語で授業7つの鉄則
- 6. 新教育課程に向けて
- 7. TEAP Hot News!
- 8. トビタテ! 留学 JAPAN
- 9. SGU「東京外国語大学」
- 10. SGH「中間評価を受けて」

- 11. 第2回高校生国際シンポジウムを開催
- 12. 学習到達目標と指導、評価の一体化を目指して
- 13. 英検4級・5級で広がる英語の世界
- 14. 英検2級の「壁」を超えるための授業実践
- 15. 明海大学と足立区が連携協力に関する協定締結
- 16. スピーチコンテスト上位入賞者海外研修報告
- 17. 全英連 新会長に聞く
- 18. 「英語教育セミナー in 東京 2016」を開催
- 19. 2016年度英検英語教員海外研修「帰国後の取り組み」
- 20. わたしのオススメ本
- 2. 上記の記事が興味深かった理由がありましたら、記事の番号とともにご記入ください。
- 3. 今後、本誌で取り上げてほしい内容やご意見がございましたらご自由にお書きください。

54 英語情報 2017 Spring 英語情報 2017 Spring 55

Information ©

Cover Photo:

鳴門市林崎小学校 教諭 坂田美佳 東広島市立松賀中学校 教諭 中村 麻奈美 静岡県立沼津西高等学校 教諭 中島 由美 東京外国語大学 理事・副学長 林 佳世子 (総括、教育等担当)

編集後記

新年度が始まりました。小・中学校の新学習 指導要領案が発表され、いよいよ小学校で は中学年での外国語活動と、高学年の外国 語科が始まり、中学校では「授業は英語で行 うことを基本とする」ことが明らかになりまし た。今号では、新学習指導要領によって何が どう変わるのかに焦点を当て、先行研究に取 り組んでいる学校を取材しています。また、7 つの鉄則では、生徒の意欲を引き出す工夫 を凝らした授業を取材し、教員がチームで授 業改善に取り組むことの大切さをご紹介して います。新たな連載も始まり、装い新たにス タートした2017年度版の『英語情報』。こ れからも編集部では、読者の皆様に寄り添 い、明日からの授業改善に役立つ情報、留学 や大学入試に関する情報、そして4技能化の 進む実用英語技能検定に関する最新情報 を発信してまいります。誌面へのご要望をぜ ひ編集部へお寄せください。

『英語情報』編集部一同

英語情報 2017 春号

2017年4月1日発行

発行 公益財団法人日本英語検定協会 総務部 総務課 〒162-8055 東京都新宿区横寺町55

編集統括 株式会社モアカラー アートディレクション・制作 株式会社モアカラー

印刷 日新印刷株式会社 製本 有限会社穴口製本所

◎無断転載、複製を禁じます。

© 2017 公益財団法人 日本英語検定協会

英検試験問題と解答のウェブサイト公開のご案内

公益財団法人日本英語検定協会は、より広範な情報公開と、サービスの質的向上を図るべく、一次試験問題を英検ウェブサイトにて公開するサービスを行っております。一次試験日から約1週間後に問題を提供いたします。 英検ウェブサイトの URL は、下記の通りです。

英検試験問題 http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/

一次試験の「解答速報」は、毎回一次試験日の翌月曜日13時以降に英検ウェブサイトにて 公開いたします。

英検解答速報 http://www.eiken.or.jp/eiken/result/

本誌について

● 茶投由!3 平付に明オステレ

お問い合わせ先 英検サービスセンター TEL 03-3266-8311

本誌は以下、英検ウェブサイトよりPDFにてダウンロードしていただくことが可能です。 http://www.eiken.or.jp/eiken/group

お問い合わせ電話案内 電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

| 英検申込受付に関すること (出願、検定料など)英検受験に関すること (受験票、会場、合格通知など) | 英検サービスセンター … | (個人) 03-3266-8311 (団体) 03-3266-6581 |
|--|----------------------|-------------------------------------|
| ● 英検 Jr.に関すること | 英検サービスセンター(| 英検 Jr.) 03- 3266- 6463 |
| ● 研究助成に関すること | 英語教育研究センター・ | 03-3266-6706 |
| ● BULATSに関すること | BULATS事務局 ········ | 03-3266-6366 |
| ● IELTSに関すること | IELTS事務局 ··········· | 03-3266-6852 |
| ● TEAPに関すること | TEAP運営事務局 ······ | 03-3266-6556 |
| ● 英検留学に関すること | 英検留学情報センター | 03-3266-6839 |
| ● 通信講座に関すること | 通信教育課 | 03-3266-6521 |
| | | |

03-3266-8311

● その他のお問い合わせ 英検サービスセンター

英検

新学期は「英検」でスタート!

後援:文部科学省

4技能入試にも、海外留学にも、英語力向上にも。

教員向け

「英検検定料助成制度」 を利用して準1級を目指す! 準2級を取得して あこがれの留学へ!

4技能入試に挑戦して 大学に合格!







2017年度 実用英語技能検定 試験日程

2017年度より二次試験を2日間(「A日程」、その1週間後に「B日程」)設定いたします。 一定の条件によりA、Bいずれかの日程を指定します。詳しくは英検ウェブサイト(http://www.eiken.or.jp/eiken)をご覧ください。

第一回検定

申込受付 3/10 台~5/12 台 【書店締切: 5/8 月】

一次試験

(筆記・リスニング)

準会場 すべての 6/3回・4回

中学・高校 6/2品

二次試験 (面接形式のスピーキング)

AB程 7/2 BB程 7/9

(0)

6/4■

第2回検定

申込受付 8/7月~9/15台 【書店締切: 9/8台】

10/8■

一次試験 (筆記・リスニング)

準会場 すべての 10/7 配・8 目 中学・高校 10/6 録

二次試験 (面接形式のスピーキング)

AB程 11/5日 BB程 11/12日

第3回検定

申込受付 11/21 四~12/20 【書店締切: 12/13 図】

一次試験 2018/1/21 目

準会場 すべての 1/20 聞・21 目

中学・高校 1/19 紐

二次試験 (面接形式のスピーキング)
AH程 218 BH程 21/25 国

※4級・5級のスピーキングテストの受験日は、申し込まれた各回次の一次試験合否閲覧日から受験が可能です。各回次の二次試験日(1級~3級)から約1年間ご受験いただけます。 詳しくは英検ウェブサイト内4級・5級スピーキングテスト特設サイト(https://www.eiken.or.jp/eiken/exam/4s5s/)をご覧ください。

[※]全国の英語教育に関する研究会、セミナーなどのウェブへの情報掲載については、英検のウェブサイトのフォームよりお申し込みください。